

平成 28 年 度

# 県 政 世 論 調 査

結 果 報 告 書

〈概要版〉

平成 29 年 1 月

福 島 県



# 目 次

|                                   | 頁  |
|-----------------------------------|----|
| I 調査の概要                           |    |
| 1. 調査の目的                          | 1  |
| 2. 調査実施概要                         | 1  |
| 3. 調査項目                           | 1  |
| 4. 回答者の構成                         | 2  |
| II 調査結果の解説                        |    |
| 1. 復興に関する情報発信について                 | 5  |
| (1) 震災・原発事故や復興について知りたい情報          | 5  |
| (2) 復興が進んでいると感じる情報                | 6  |
| (3) 復興状況に関する情報の入手先                | 7  |
| (4) 県の広報活動の満足度                    | 8  |
| (5) 県外に発信すべき内容                    | 10 |
| 2. 農林水産業について                      | 11 |
| (1) 農林水産物の購入や食生活で実践しているまたは実践したいこと | 11 |
| (2) 農山漁村の役割として期待すること              | 12 |
| (3) 全国植樹祭を知ったきっかけ                 | 13 |
| (4) 興味がある森林活動                     | 14 |
| 3. 生物多様性について                      | 15 |
| (1) 『生物多様性』について                   | 15 |
| (2) 自然環境の変化について                   | 16 |
| (3) 生物多様性の保全と復旧・復興への取り組みについて      | 17 |
| (4) 生物多様性の保全のために重要だと思うこと          | 18 |
| (5) 生物多様性に配慮したライフスタイルについて         | 19 |
| 4. 高校教育について                       | 20 |
| (1) 選択したい学科                       | 20 |
| (2) 高等学校選択の際の重視点                  | 22 |
| (3) 定時制高等学校の必要性                   | 23 |
| (4) 中高一貫教育校の必要性                   | 24 |
| (5) 一番必要な中高一貫教育校の形態               | 25 |
| (6) 中高一貫教育校で重視した方が良いこと            | 26 |

|                                | 頁  |
|--------------------------------|----|
| 5. 地域社会の安全・安心（治安）について.....     | 27 |
| (1) 現在の治安状況.....               | 27 |
| (2) 治安状況が良いと思う理由.....          | 28 |
| (3) 治安状況が悪いと思う理由.....          | 29 |
| (4) 犯罪の発生状況や防止方法等の情報の提供手段..... | 30 |
| (5) 犯罪に関して知りたい情報.....          | 31 |
| (6) 警察に強化してほしい活動.....          | 32 |
| (7) 重点的に取り締まってほしい犯罪.....       | 34 |
| (8) 身近に感じる不安.....              | 36 |
| 6. 安全で安心な県づくりについて.....         | 37 |
| (1) 安全・安心の現状.....              | 37 |
| 7. 県総合計画について.....              | 39 |
| (1) 福島県の現状.....                | 39 |

### Ⅲ 調査票様式

### Ⅳ 過去に実施した県政世論調査項目一覧

#### ●本報告書利用にあたっての注意点

1. 本文及び図表中の回答者の割合は百分比（％）で表し、小数点以下第2位を四捨五入してある。  
したがって、四捨五入の結果、個々の比率の合計が100%にならないことがある。また、複数回答の質問では、比率の合計は100%を超えることがある。
2. 図表中の「n」は回答者総数（該当者への質問の場合は該当者数）のことで、100%が何人に相当するかを示す、比率算出の基数である。

# I 調査の概要



## 1. 調査の目的

県政の課題等について県民の意識やニーズを調査し、具体的な政策形成等の基礎的な資料とする。

## 2. 調査実施概要

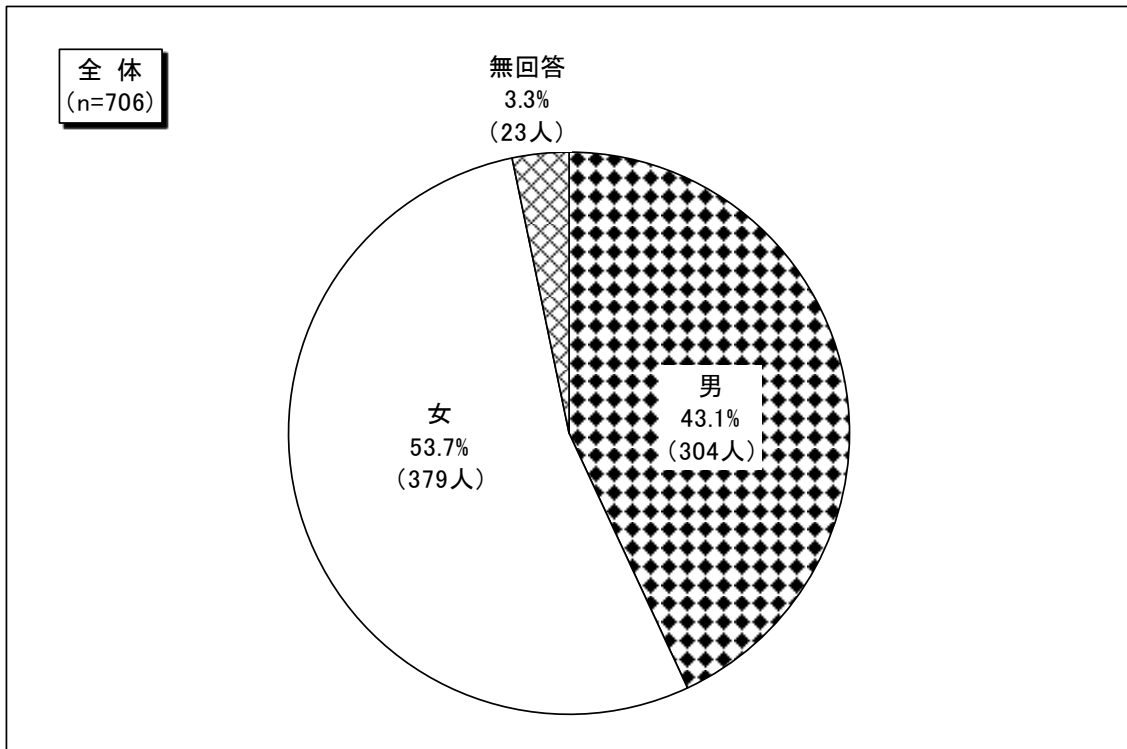
- |          |   |
|----------|---|
| (1) 調査地域 | 福島県全域（28市町村を抽出）   |
| (2) 調査対象 | 満15歳以上の男女個人   |
| (3) 標本数  | 1,300（人）  |
| (4) 抽出方法 | 層化二段無作為抽出<br>第1次抽出：「県北」「県中」「県南」「会津」「南会津」「相双」「いわき」の県内7地域をそれぞれ「総人口10万人以上の市」「総人口10万人未満の市」「郡部（町村）」の3グループに分け、各グループを1つの層とした。<br>各層の市町村別人口累積表により、等間隔に調査地点（市町村及び町丁・大字）を設定した。<br>第2次抽出：第1次抽出で得られた調査地点の住民基本台帳から、条件にあてはまる調査対象者個人を系統抽出した。 |
| (5) 調査方法 | 郵送調査（自記式アンケート）  |
| (6) 調査期間 | 平成28年10月11日～10月25日  |
| (7) 回収結果 | 有効回収数706（有効回収率54.3%）  |

## 3. 調査項目

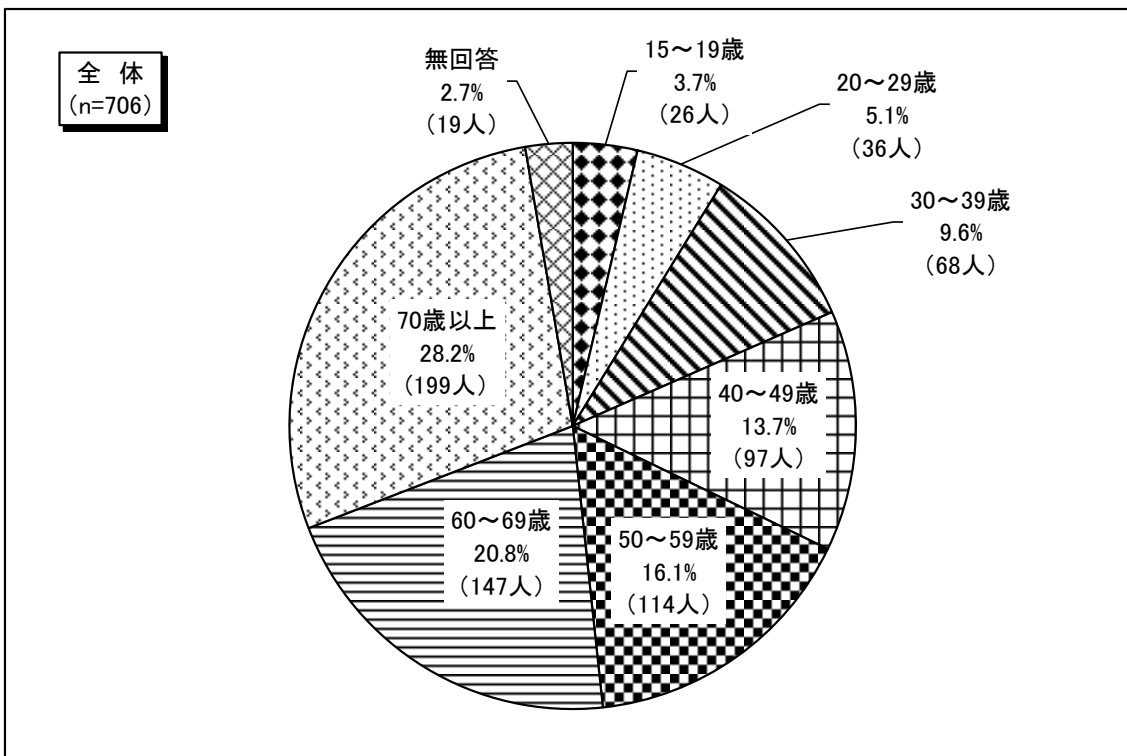
- (1) 『復興に関する情報発信』について
- (2) 『農林水産業』について
- (3) 『生物多様性』について
- (4) 『高校教育』について
- (5) 『地域社会の安全・安心（治安）』について
- (6) 『安全で安心な県づくり』について
- (7) 『県総合計画』について

#### 4. 回答者の構成

##### (1) 性別

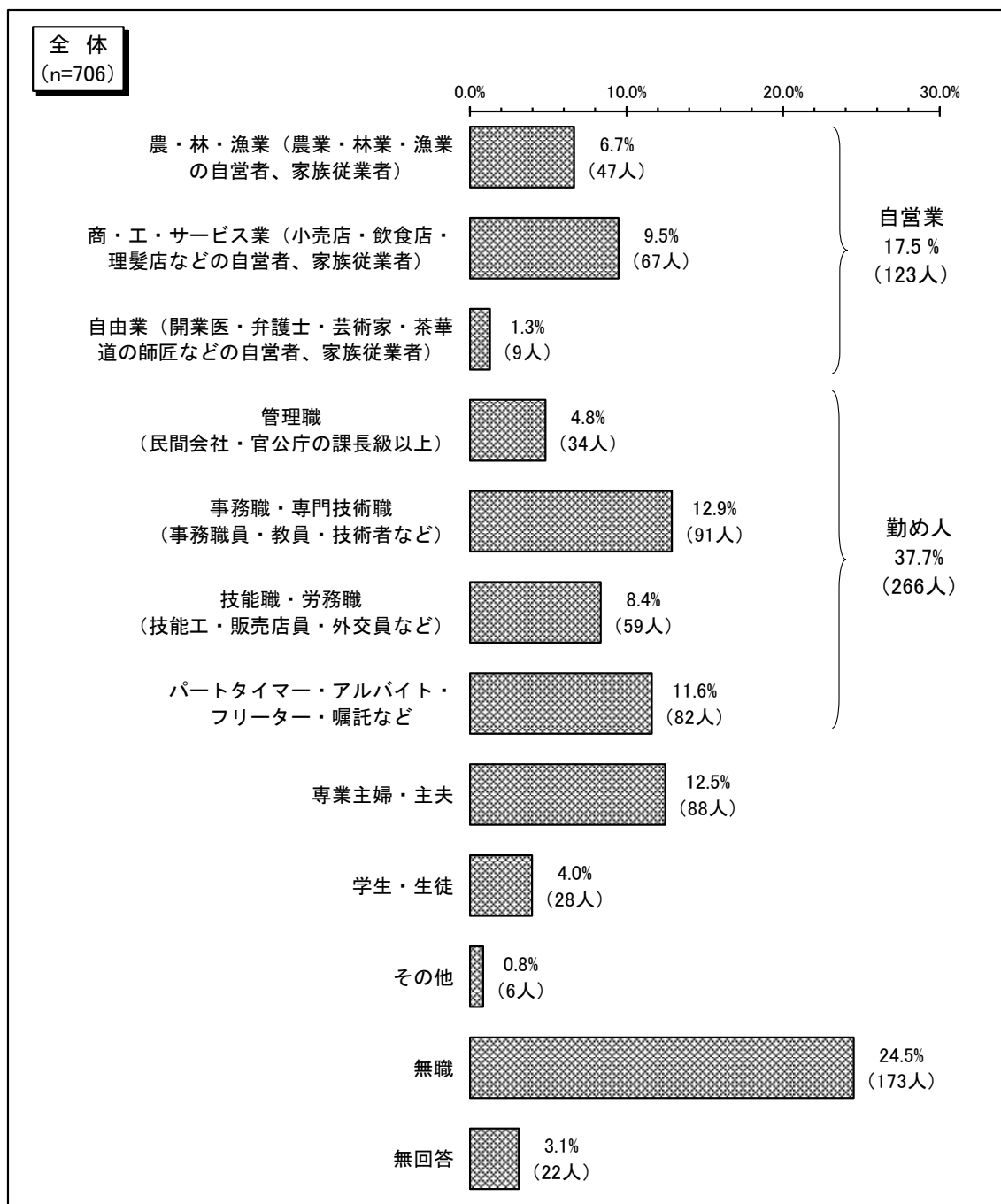


##### (2) 年齢

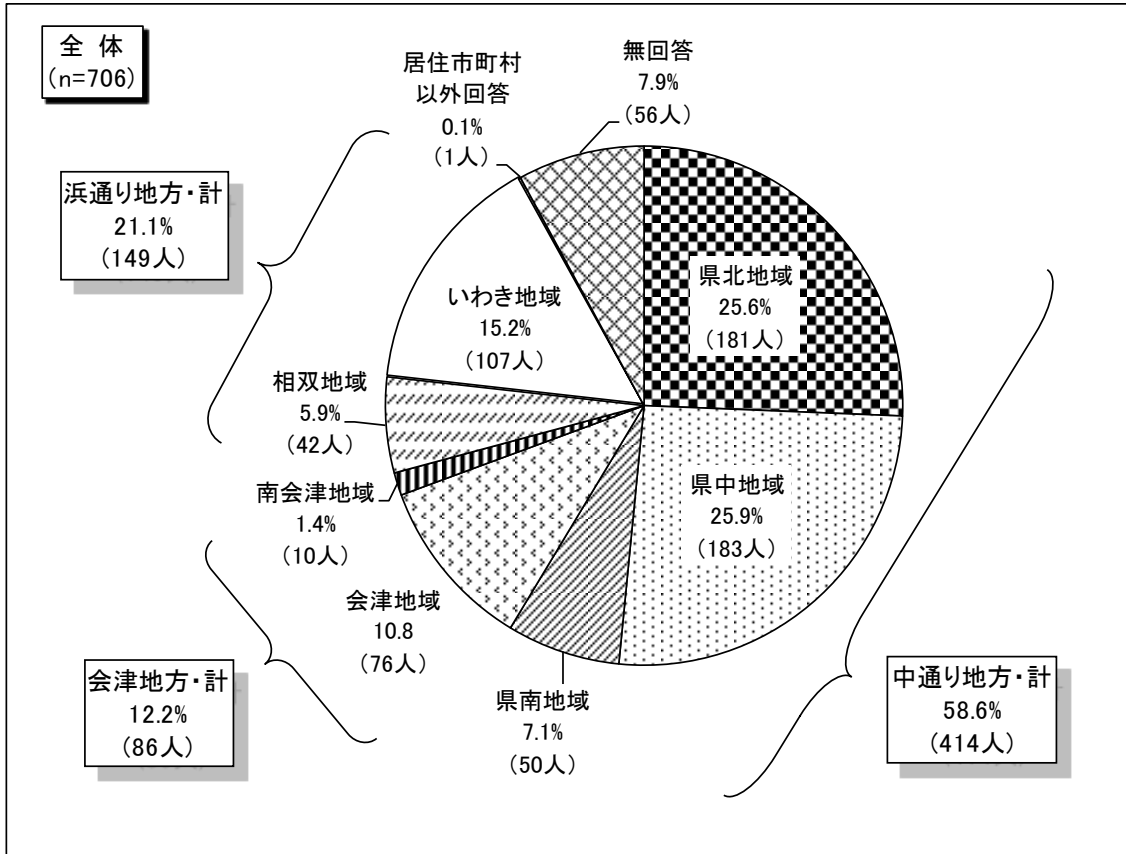




(3) 職業



(4) 居住地域



市町村別回答者数

|           |      | 市町村名 | 回答者数<br>(人) | 構成比<br>(%) |
|-----------|------|------|-------------|------------|
| 中通り<br>地方 | 県北地域 | 福島市  | 103         | 14.6       |
|           |      | 二本松市 | 25          | 3.5        |
|           |      | 伊達市  | 23          | 3.3        |
|           |      | 本宮市  | 13          | 1.8        |
|           |      | 国見町  | 12          | 1.7        |
|           |      | 大玉村  | 5           | 0.7        |
|           |      | 郡山市  | 112         | 15.9       |
|           | 県中地域 | 須賀川市 | 23          | 3.3        |
|           |      | 田村市  | 13          | 1.8        |
|           |      | 鏡石町  | 10          | 1.4        |
|           |      | 石川町  | 10          | 1.4        |
|           |      | 三春町  | 15          | 2.1        |
|           |      | 白河市  | 18          | 2.5        |
|           | 県南地域 | 泉崎村  | 13          | 1.8        |
| 棚倉町       |      | 9    | 1.3         |            |
| 鮫川村       |      | 10   | 1.4         |            |

|               |        | 市町村名      | 回答者数<br>(人) | 構成比<br>(%) |
|---------------|--------|-----------|-------------|------------|
| 会津<br>地方      | 会津地域   | 会津若松市     | 41          | 5.8        |
|               |        | 喜多方市      | 10          | 1.4        |
|               |        | 西会津町      | 6           | 0.8        |
|               |        | 会津坂下町     | 11          | 1.6        |
|               |        | 会津美里町     | 8           | 1.1        |
|               |        | A 下郷町     | 10          | 1.4        |
| 浜通<br>り地<br>方 | 相双地域   | 相馬市       | 12          | 1.7        |
|               |        | 南相馬市      | 15          | 2.1        |
|               |        | 富岡町       | 4           | 0.6        |
|               |        | 双葉町       | 3           | 0.4        |
|               |        | 新地町       | 8           | 1.1        |
|               | B いわき市 | 107       | 15.2        |            |
|               |        | 居住市町村以外回答 | 1           | 0.1        |
|               |        | 居住市町村別無回答 | 56          | 7.9        |
|               |        | 全体        | 706         | 100.0      |

A 南会津地域

B いわき地域

※居住市町村は平成27年6月1日現在の住民基本台帳による

## Ⅱ 調査結果の解説

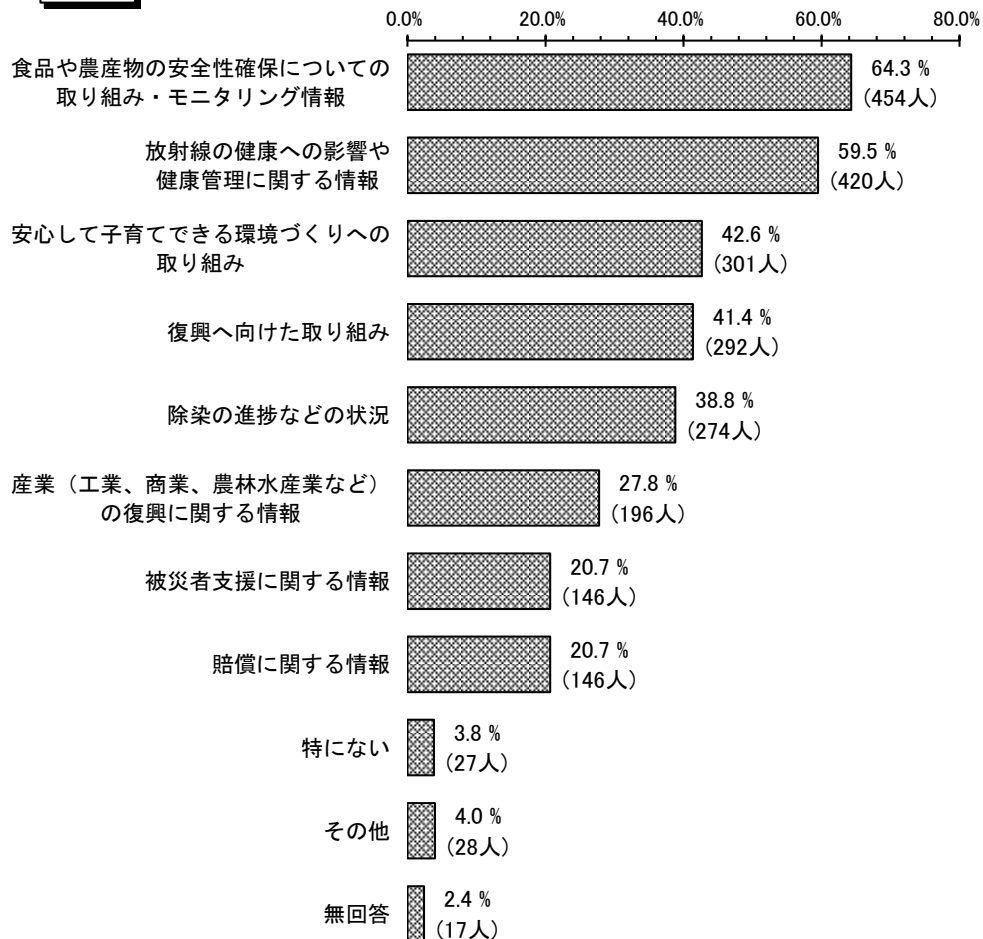


# 1. 復興に関する情報発信について

## (1) 震災・原発事故や復興について知りたい情報

問1 震災・原発事故や復興について、あなたはどのような情報を知りたいですか。  
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。(複数回答可)

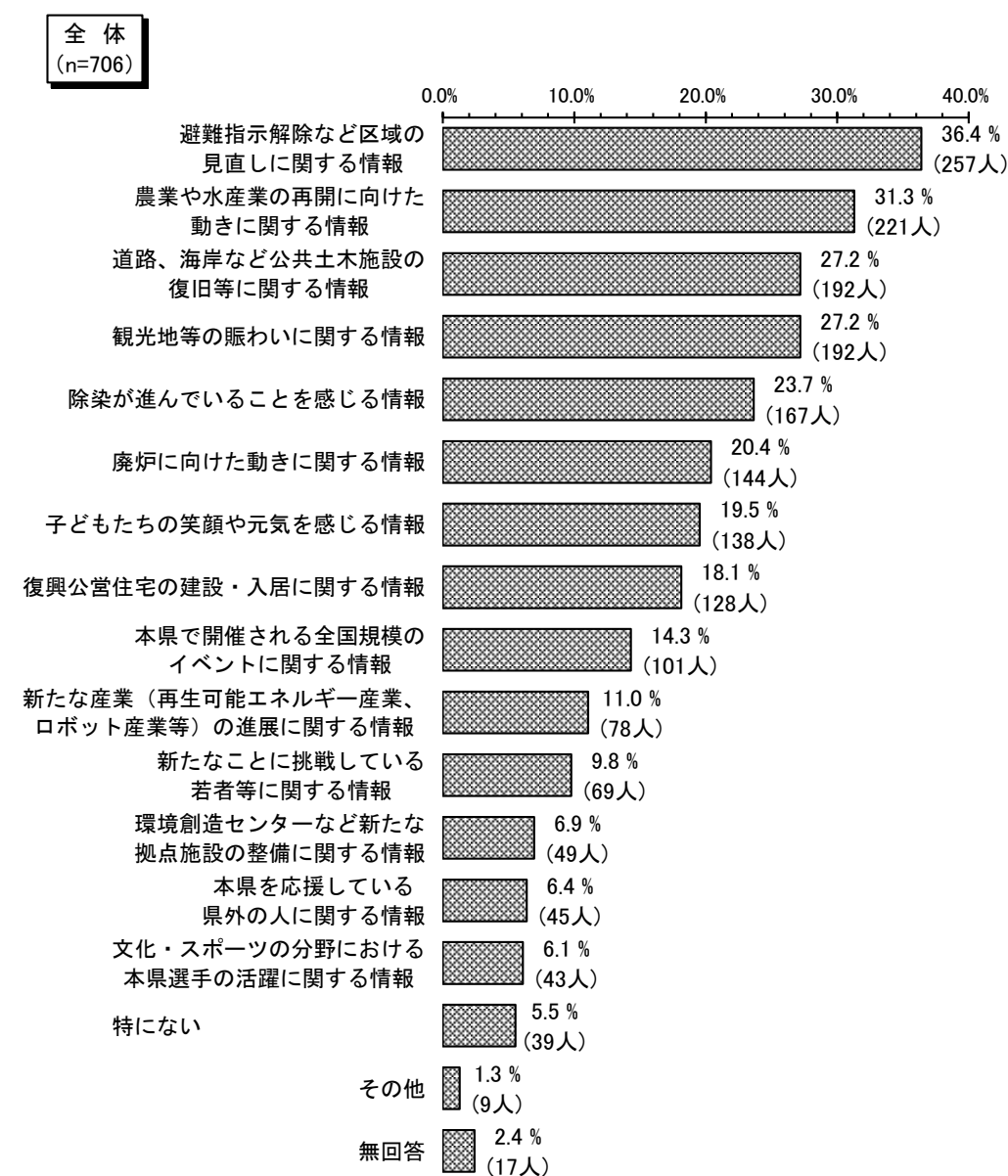
全体  
(n=706)



震災・原発事故や復興について知りたい情報は、「食品や農産物の安全性確保についての取り組み・モニタリング情報」(64.3%)や「放射線の健康への影響や健康管理に関する情報」(59.5%)が多く6割前後となっている。以下、「安心して子育てできる環境づくりへの取り組み」(42.6%)、「復興へ向けた取り組み」(41.4%)、「除染の進捗などの状況」(38.8%)が4割前後で続いている。

## (2) 復興が進んでいると感じる情報

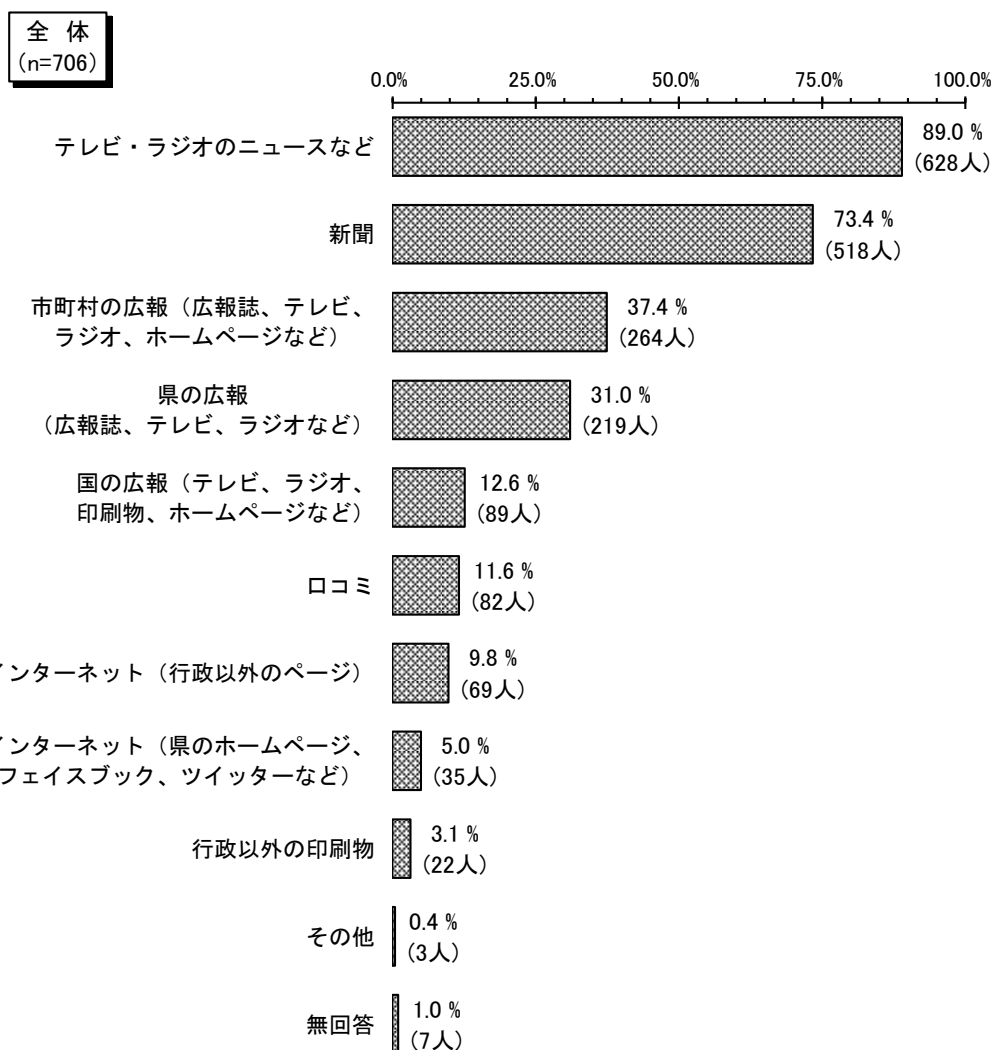
問2 復興が前に進んでいると感じるのは、どのような情報を得たときですか。  
あてはまるもの3つまで○をつけてください。



復興が進んでいると感じる情報としては、「避難指示解除など区域の見直しに関する情報」(36.4%)が最も多く、4割弱となっている。以下、「農業や水産業の再開に向けた動きに関する情報」(31.3%)が3割台、「道路、海岸など公共土木施設の復旧等に関する情報」「観光地等の賑わいに関する情報」(それぞれ27.2%)、「除染が進んでいると感じる情報」(23.7%)、「廃炉に向けた動きに関する情報」(20.4%)が2割台で続いている。

### (3) 復興状況に関する情報の入手先

問3 本県の復興の状況に関する情報については主に何で入手していますか。  
 あてはまるものにいくつでも○をつけてください。(複数回答可)

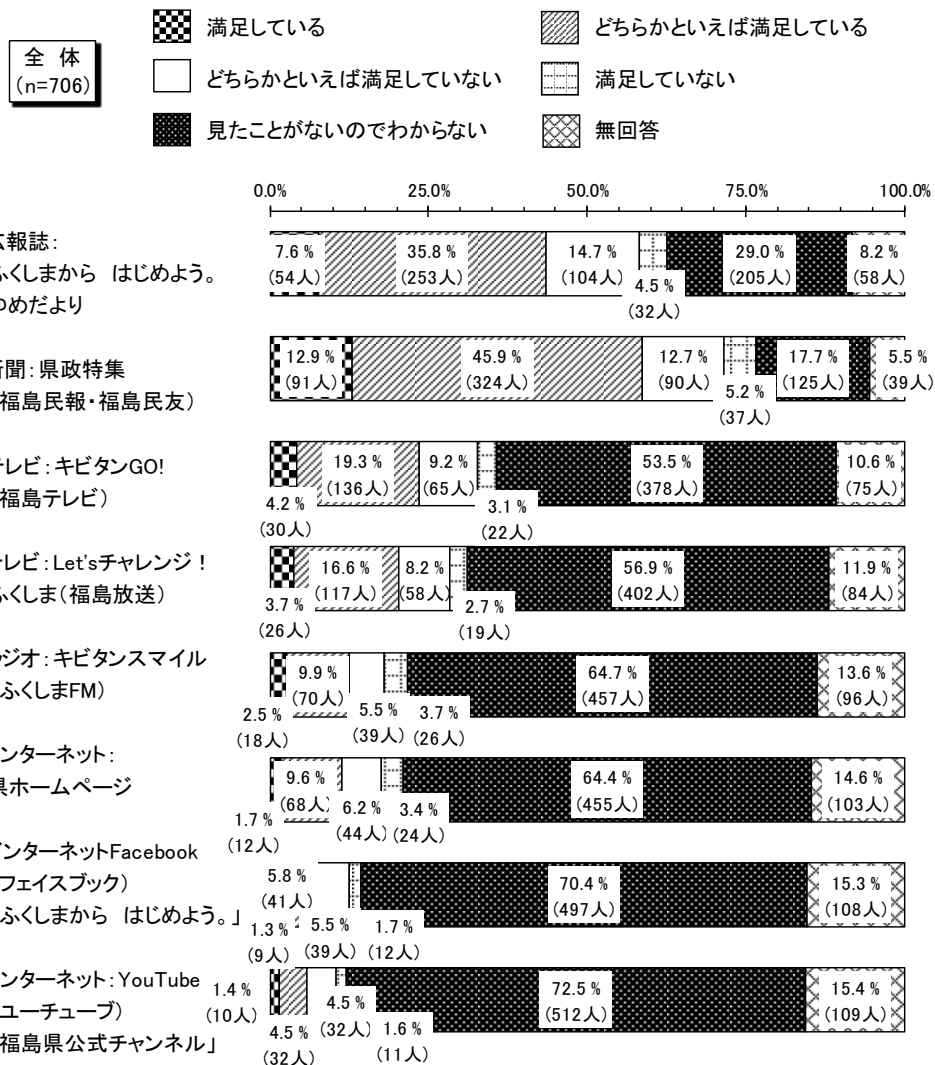


復興の状況に関する情報の入手先は、「テレビ、ラジオのニュースなど」(89.0%)が最も多く、9割弱となっている。以下、「新聞」(73.4%)が7割台、「市町村の広報(広報誌、テレビ、ラジオ、ホームページなど)」(37.4%)と「県の広報(広報誌、テレビ、ラジオなど)」(31.0%)が3割台、「国の広報(テレビ、ラジオ、印刷物、ホームページなど)」(12.6%)と「ロコミ」(11.6%)が1割台となっている。

#### (4) 県の広報活動の満足度

問4 あなたは、県の広報活動に満足していますか。

(ア)～(ク)についてそれぞれ1～5の中であてはまるもの1つに○をつけてください。



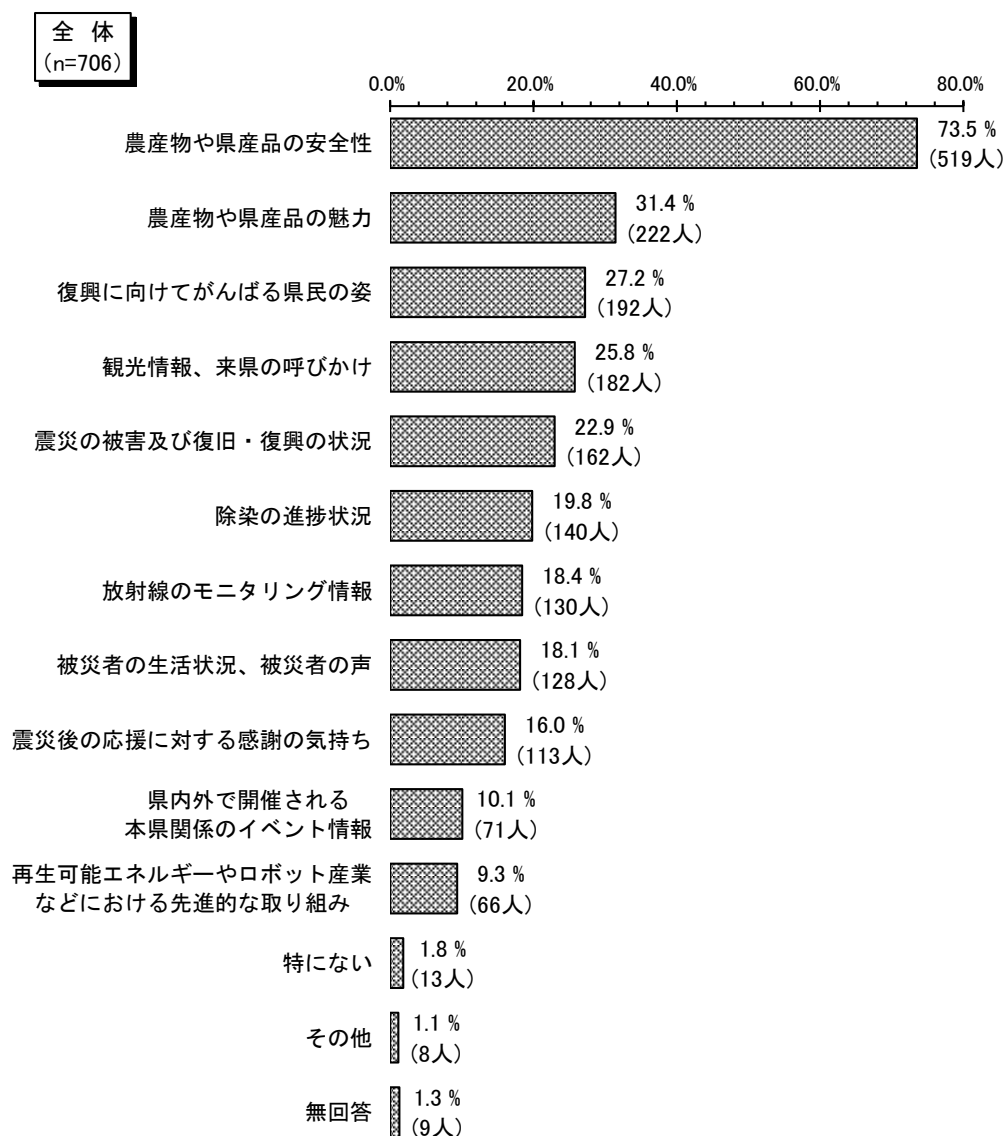


県の広報活動に「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足している』計の割合をみると、〈新聞『県政特集（福島民報・福島民友）』〉（58.8%）が最も多く、6割弱となっている。以下、〈広報誌『ふくしまから はじめよう。ゆめだより』〉（43.5%）が4割台、〈テレビ『キビタンGO!（福島テレビ：毎週木曜日 21:54～22:00）』〉（23.5%）、〈テレビ『Let's チャレンジ！ふくしま（福島放送：毎週火曜日 20:56～21:00）』〉（20.3%）が2割台、〈ラジオ『キビタンスマイル（ふくしまFM：毎週月～金曜日 17:30～17:35）』〉（12.5%）、〈インターネット『県ホームページ』〉（11.3%）が1割台となっている。

一方、「満足していない」と「どちらかといえば満足していない」を合わせた『満足していない』計の割合は、〈広報誌『ふくしまから はじめよう。ゆめだより』〉（19.3%）が2割弱で最も高くなっている。次いで、あまり差がなく〈新聞『県政特集（福島民報・福島民友）』〉（18.0%）が続いている。以下、〈テレビ『キビタンGO!（福島テレビ：毎週木曜日 21:54～22:00）』〉（12.3%）、〈テレビ『Let's チャレンジ！ふくしま（福島放送：毎週火曜日 20:56～21:00）』〉（10.9%）となっている。

## (5) 県外に発信すべき内容

問5 あなたは、県外の方に、福島県のどのようなことを伝えるべきだと思いますか。  
あてはまるもの3つまで○をつけてください。

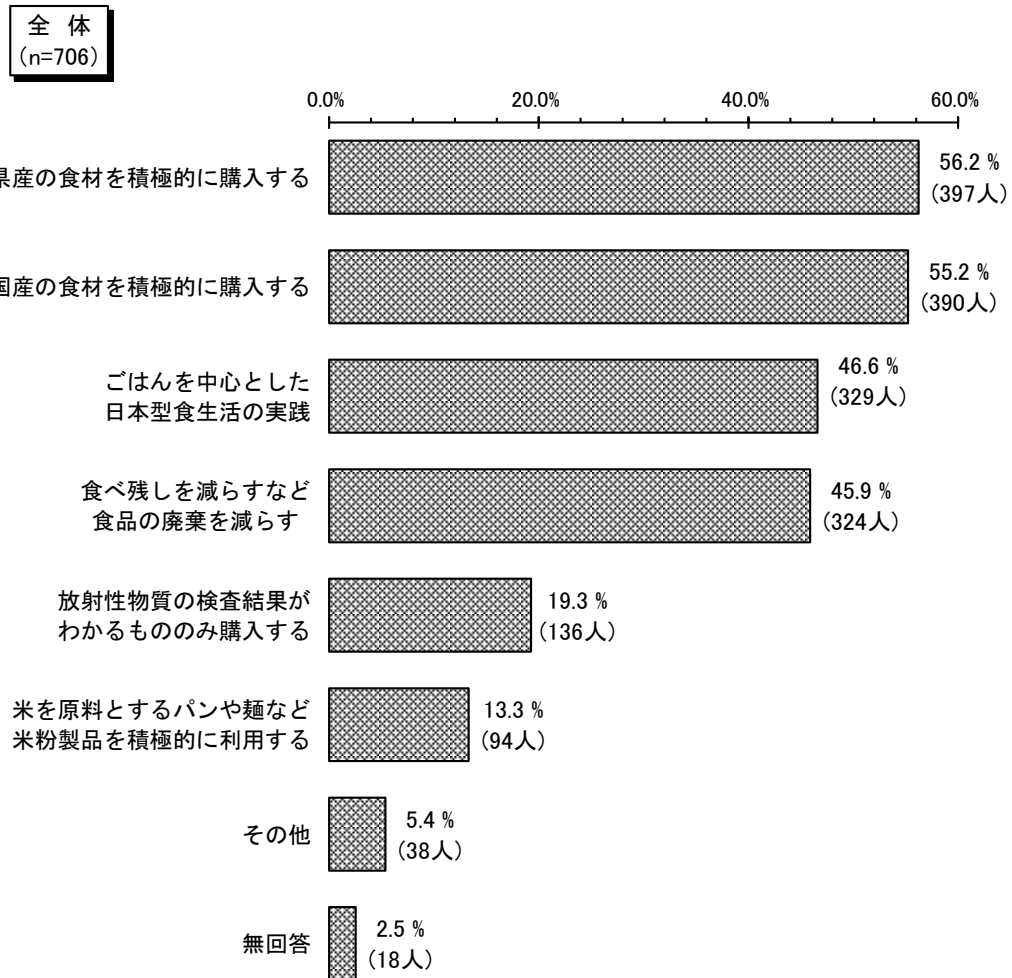


福島県の現状について、県外に伝えたいことは、「農産物や県産品の安全性」(73.5%)が最も多くなっている。以下、「農産物や県産品の魅力」(31.4%)が3割台、「復興に向けてがんばる県民の姿」(27.2%)、「観光情報、来県の呼びかけ」(25.8%)、「震災の被害及び復旧・復興の状況」(22.9%)が2割台、「除染の進捗状況」(19.8%)、「放射線のモニタリング情報」(18.4%)、「被災者の生活状況、被災者の声」(18.1%)、「震災後の応援に対する感謝の気持ち」(16.0%)、「県内外で開催される本県関係のイベント情報」(10.1%)が1割台で続いている。

## 2. 農林水産業について

### (1) 農林水産物の購入や食生活で実践しているまたは実践したいこと

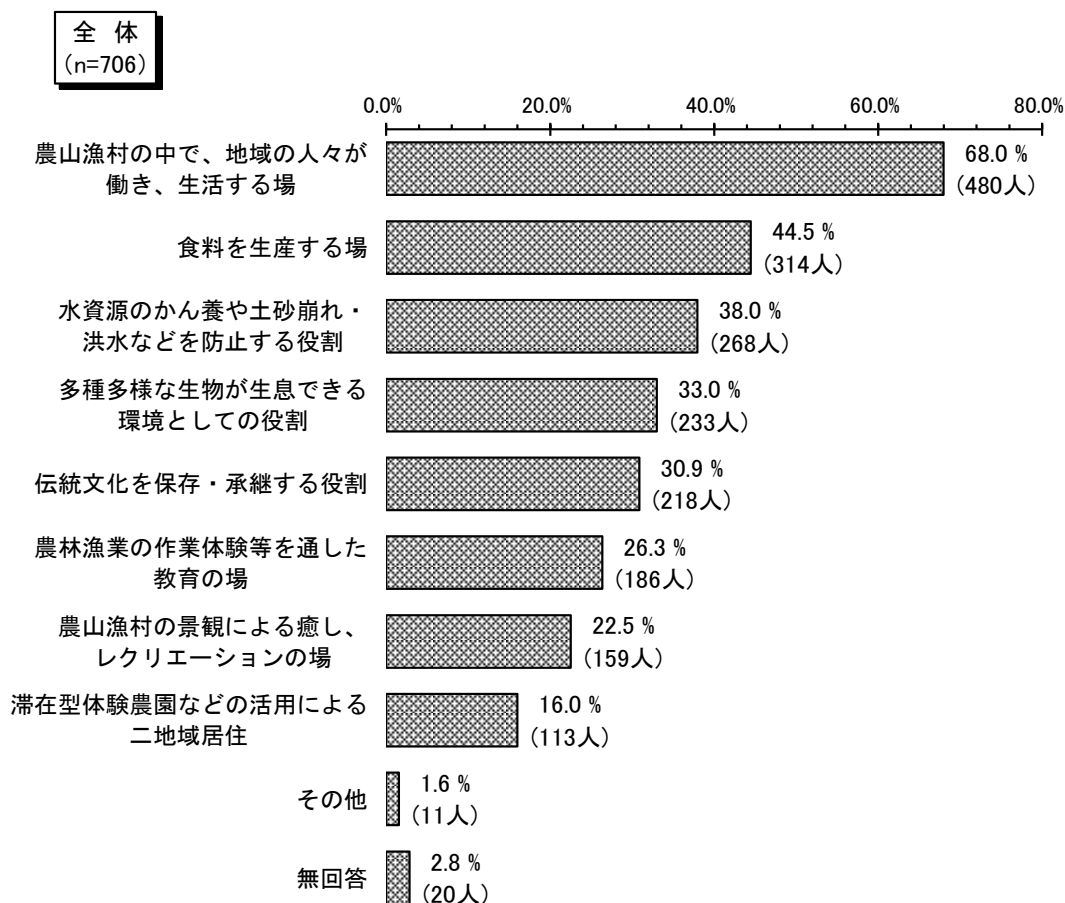
問6 震災後、あなたが農林水産物の購入や食生活において、以下の行動のうち実践しているまたは実践したいと考えていることはありますか。  
あてはまるものにもいくつでも○をつけてください。(複数回答可)



震災後、農林水産物の購入や食生活で実践しているまたは実践したいことは、「県産の食材を積極的に購入する」(56.2%)が最も多く6割弱となっている。以下、「国産の食材を積極的に購入する」(55.2%)が同じく5割台、「ごはんを中心とした日本型食生活の実践」(46.6%)と「食べ残しを減らすなど食品の廃棄を減らす」(45.9%)が4割台となっている。

## (2) 農山漁村の役割として期待すること

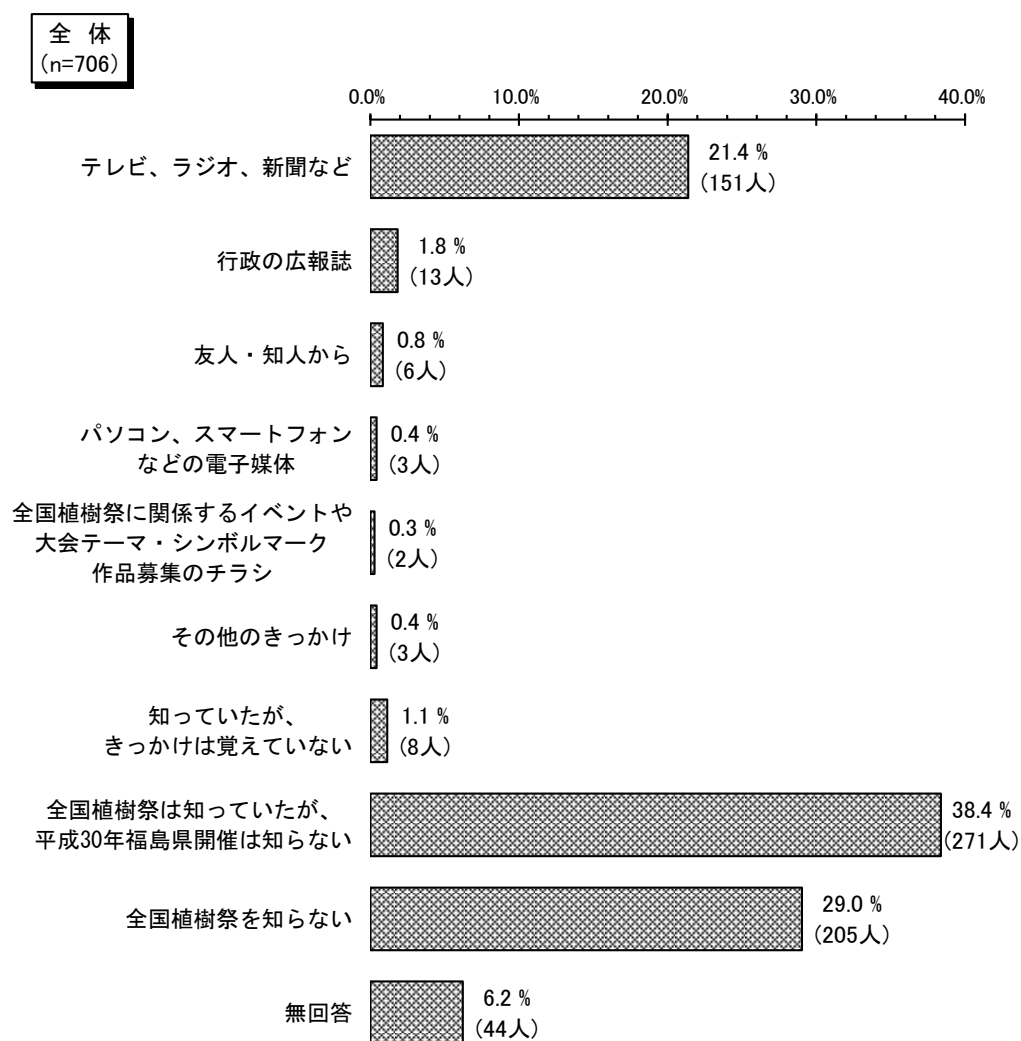
問7 あなたが本県の農山漁村の役割として期待することは何ですか。  
 あてはまるものにいくつでも○をつけてください。(複数回答可)



農山漁村の役割として期待することは、「農山漁村の中で、地域の人々が働き、生活する場」(68.0%)が最も多く7割弱となっている。以下、「食料を生産する場」(44.5%)が4割台、「水資源のかん養や土砂崩れ・洪水などを防止する役割」(38.0%)と「多種多様な生物が生息できる環境としての役割」(33.0%)と「伝統文化を保存・承継する役割」(30.9%)が3割台となっている。

### (3) 全国植樹祭を知ったきっかけ

問8 全国植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する国民的理解を深める国土緑化運動の中心的行事で、天皇皇后両陛下のお手植え・お手播きをはじめ、県内外から多くの皆様にお集まりいただき、式典や記念植樹が行われます。この全国植樹祭が平成30年春季に福島県南相馬市を会場に開催されることを知っていましたか。知っていた場合、きっかけは何でしたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

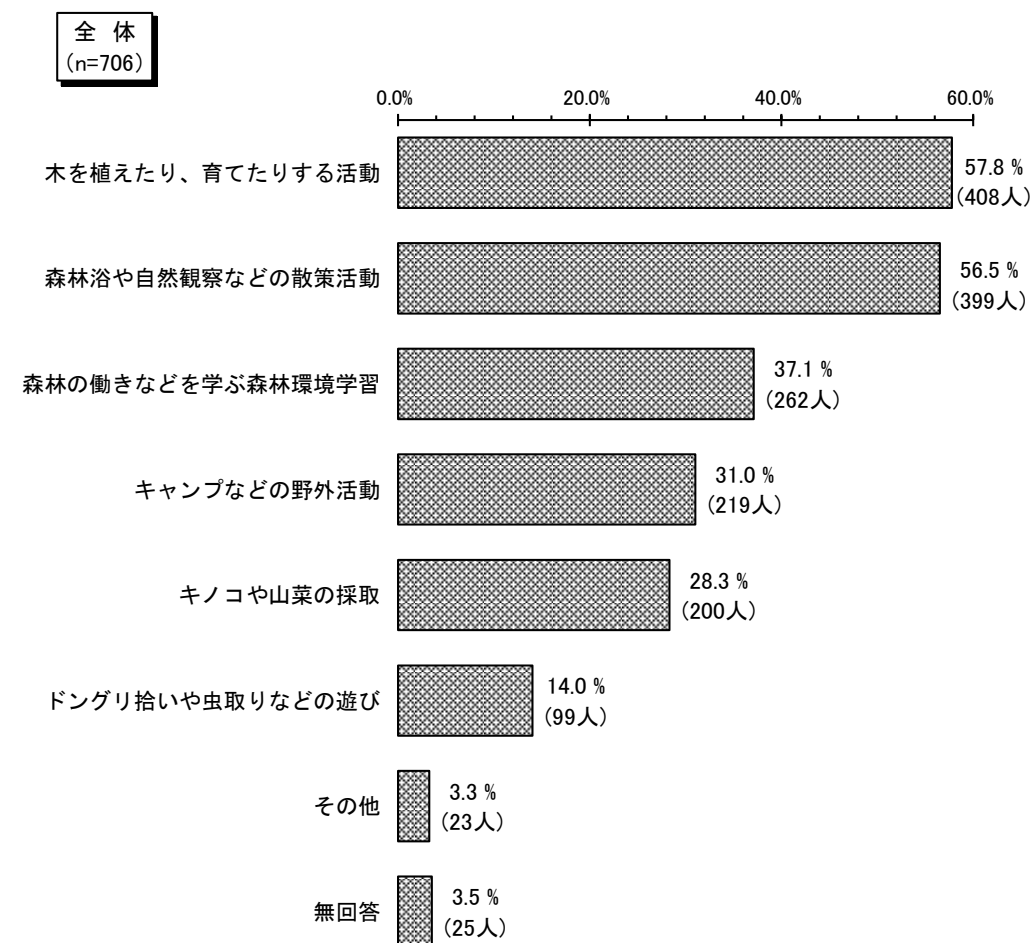


全国植樹祭を知ったきっかけは、「テレビ、ラジオ、新聞など」(21.4%)が最も多く、2割強を占めている。

「全国植樹祭は知っていたが、平成30年福島県開催は知らない」(38.4%)は4割弱、「全国植樹祭を知らない」(29.0%)は3割弱となっている。

#### (4) 興味がある森林活動

問9 森林で行うどのような活動に興味がありますか。  
あてはまるもの3つまで○をつけてください。



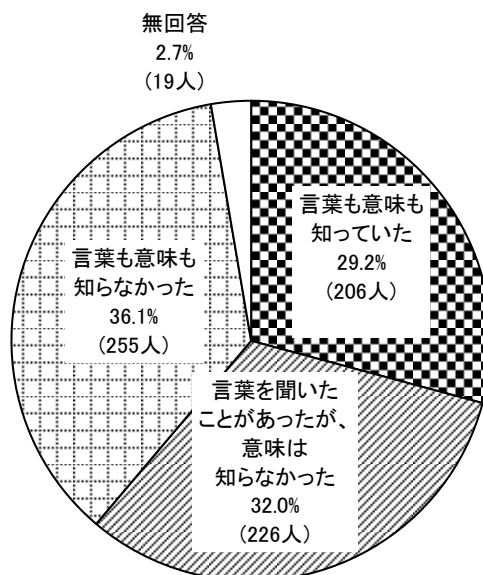
興味がある森林活動は「木を植えたり、育てたりする活動」(57.8%)が最も多く、6割弱となっている。以下、「森林浴や自然観察などの散策活動」(56.5%)が同じく5割台、「森林の働きなどを学ぶ森林環境学習」(37.1%)と「キャンプなどの野外活動」(31.0%)が3割台、「キノコや山菜の採取」(28.3%)が2割台となっている。

### 3. 生物多様性について

#### (1) 『生物多様性』について

問10 あなたは、「生物多様性」という言葉について知っていましたか。  
あてはまるものに1つに○をつけてください。

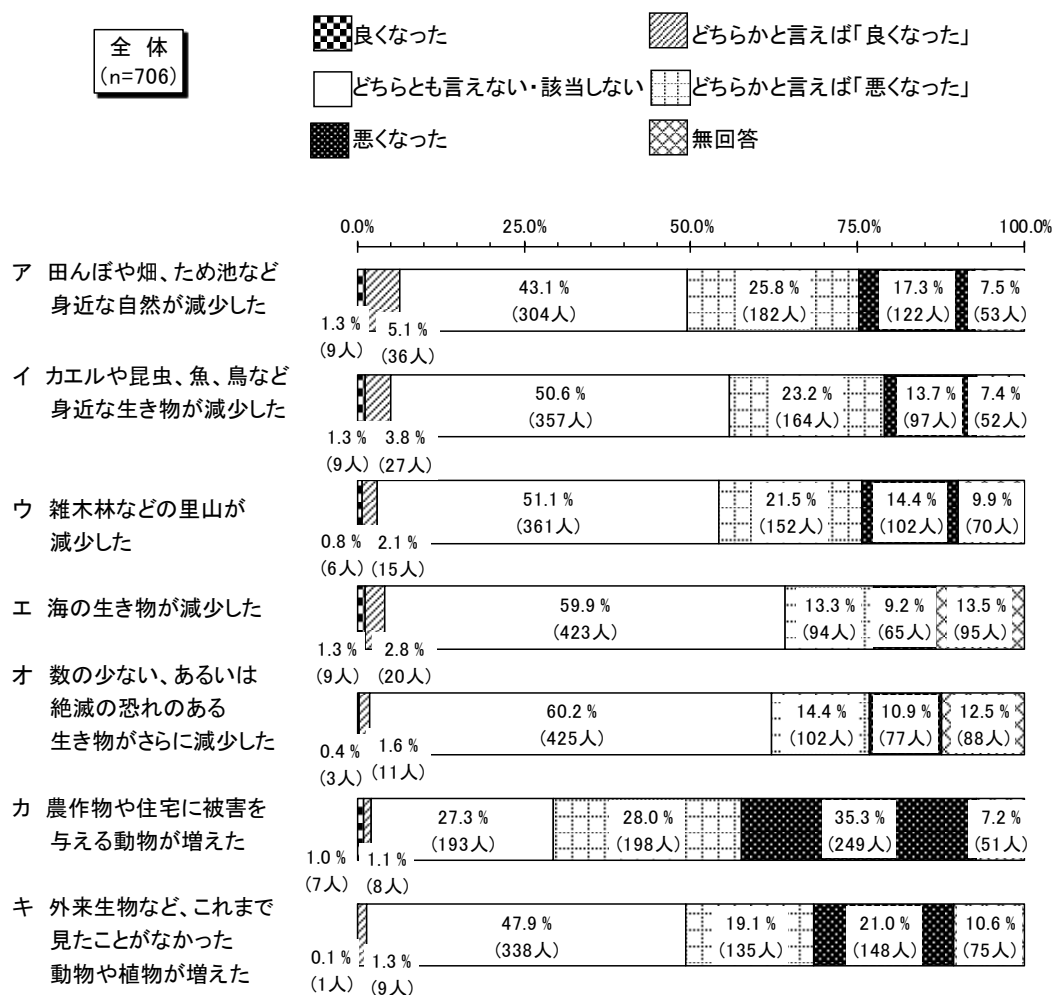
全体  
(n=706)



『生物多様性』について「言葉も意味も知らなかった」と回答した人は 36.1%と最も高く、4割弱となっている。「言葉を聞いたことがあったが、意味は知らなかった」(32.0%)が3割強で続いている。

## (2) 自然環境の変化について

問11 震災前と比較して、あなたの周りの自然環境はどのように変化しましたか。  
ア～キについて、それぞれ1～5の中であてはまるもの1つに○をつけてください。



自然環境の変化について、「良くなった」計の割合をみると、＜ア 田んぼや畑、ため池など身近な自然が減少した＞(6.4%)が最も多いが、1割に満たない。

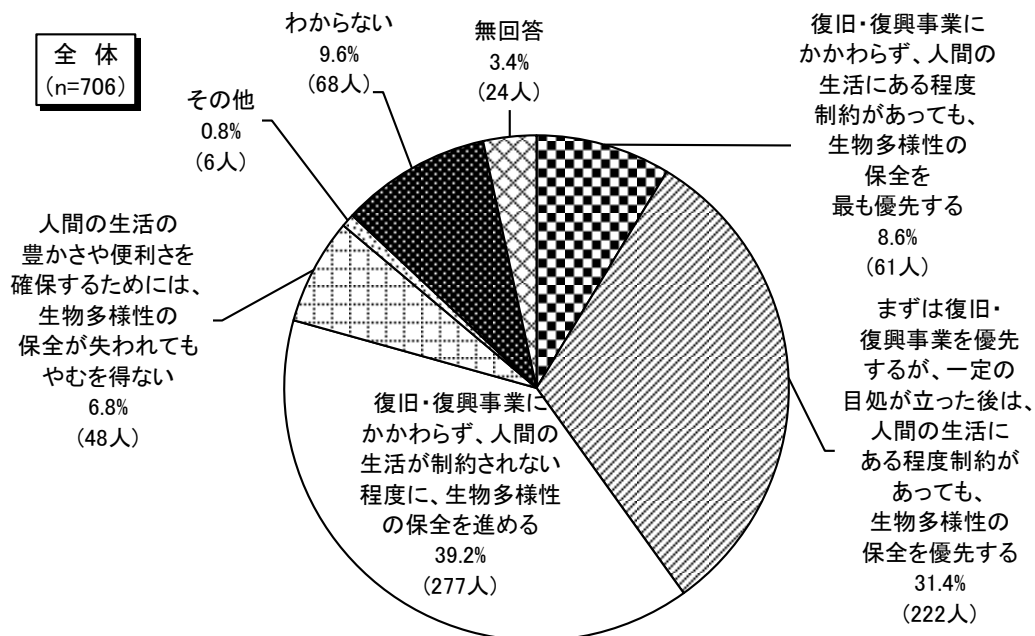
一方、「悪くなった」計の割合は、＜カ 農作物や住宅に被害を与える動物が増えた＞(63.3%)が最も高く、6割強となっている。以下、＜ア 田んぼや畑、ため池など身近な自然が減少した＞(43.1%)、＜キ 外来生物など、これまで見たことがなかった動物や植物が増えた＞(40.1%)が4割台となっている。

「どちらとも言えない・該当しない」の割合は、＜オ 数の少ない、あるいは絶滅の恐れのある生き物がさらに減少した＞(60.2%)と＜エ 海の生き物が減少した＞(59.9%)が高く、6割前後となっている。



### (3) 生物多様性の保全と復旧・復興への取り組みについて

問 12 生物多様性を保全していくことは大切ですが、一方で東日本大震災からの復旧・復興に取り組む必要もあります。あなたはこのことについてどのようにお考えでしょうか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

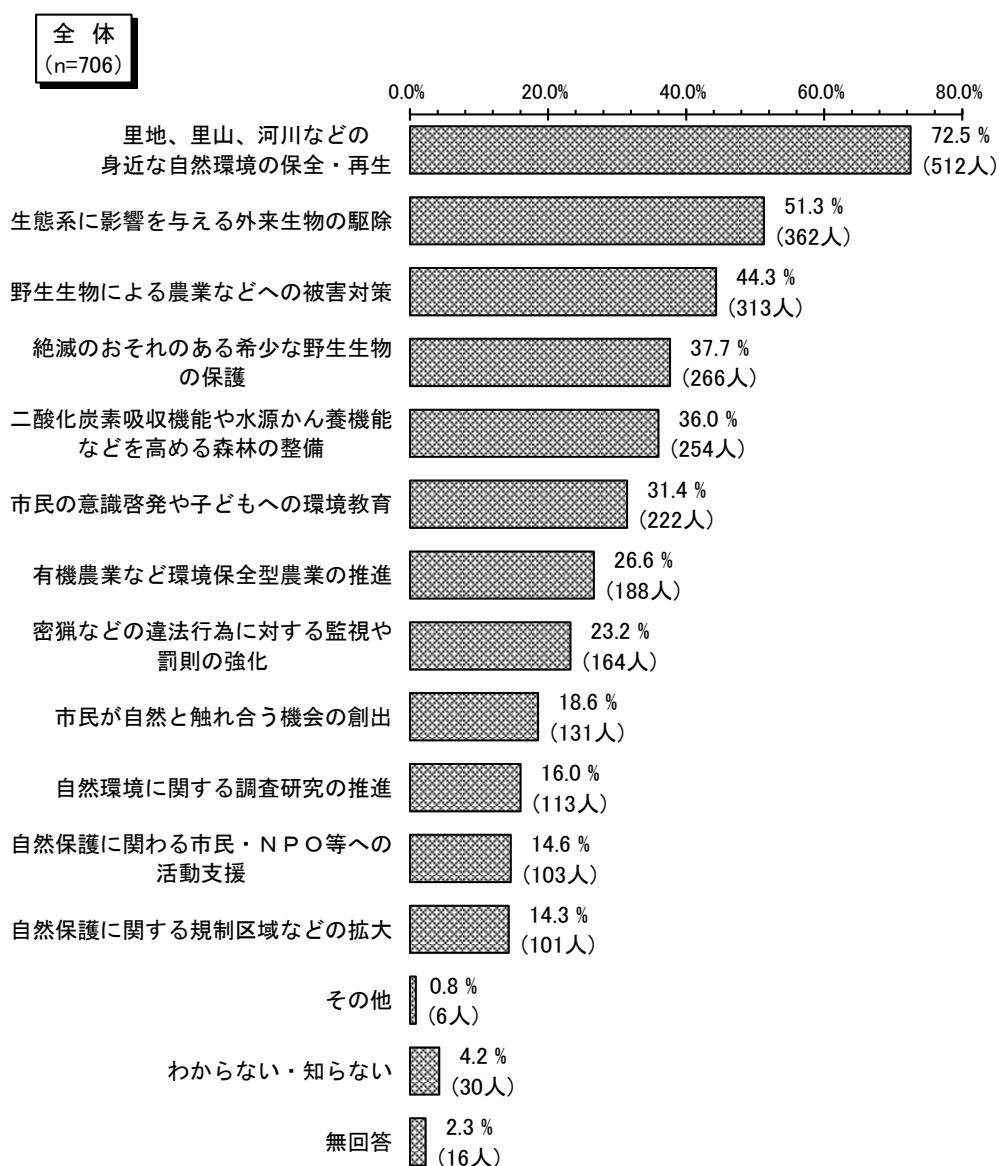


生物多様性の保全と復旧・復興への取り組みについては、「復旧・復興事業にかかわらず、人間の生活が制約されない程度に、生物多様性の保全を進める」(39.2%)が最も多く、4割強を占めている。以下、「まずは復旧・復興事業を優先するが、一定の目処が立った後は、人間の生活にある程度制約があっても、生物多様性の保全を優先する」(31.4%)が3割強で続いている。

#### (4) 生物多様性の保全のために重要だと思うこと

問 13 生物多様性の保全や、それによる生態系からの豊かな恵み（生態系サービス）を得るために最も重要だと思うことはどれですか。

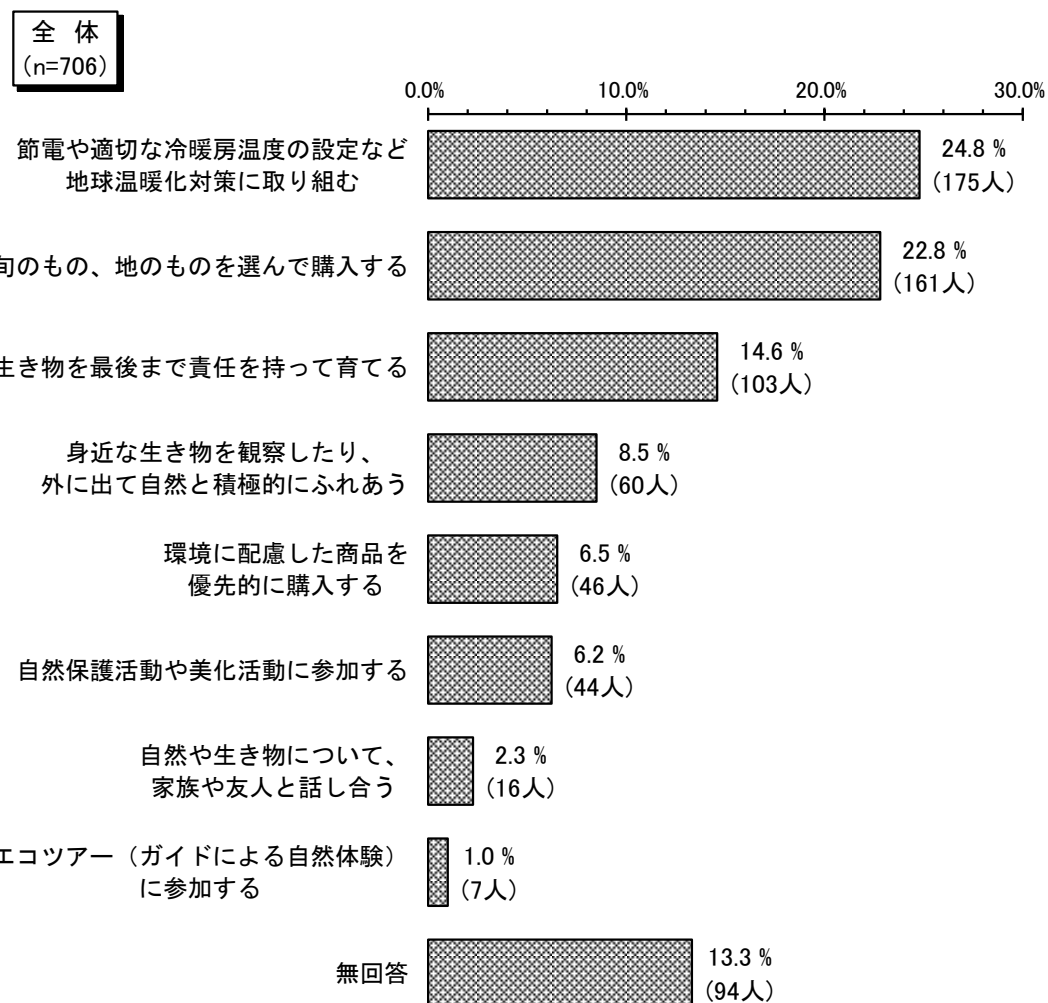
あてはまるものにもいくつかでも○をつけてください。（複数回答可）



生物多様性の保全のために重要だと思うことは、「里地、里山、河川などの身近な自然環境の保全・再生」(72.5%)の割合が最も高く、7割強となっている。以下、「生態系に影響を与える外来生物の駆除」(51.3%)が5割台、「野生生物による農業などへの被害対策」(44.3%)が4割台、「絶滅のおそれのある希少な野生生物の保護」(37.7%)と「二酸化炭素吸収機能や水源かん養機能などを高める森林の整備」(36.0%)と「市民の意識啓発や子どもへの環境教育」(31.4%)が3割台となっている。

## (5) 生物多様性に配慮したライフスタイルについて

問14 あなたは、生物多様性に配慮したライフスタイルとして、これからどのようなことを行いたいと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

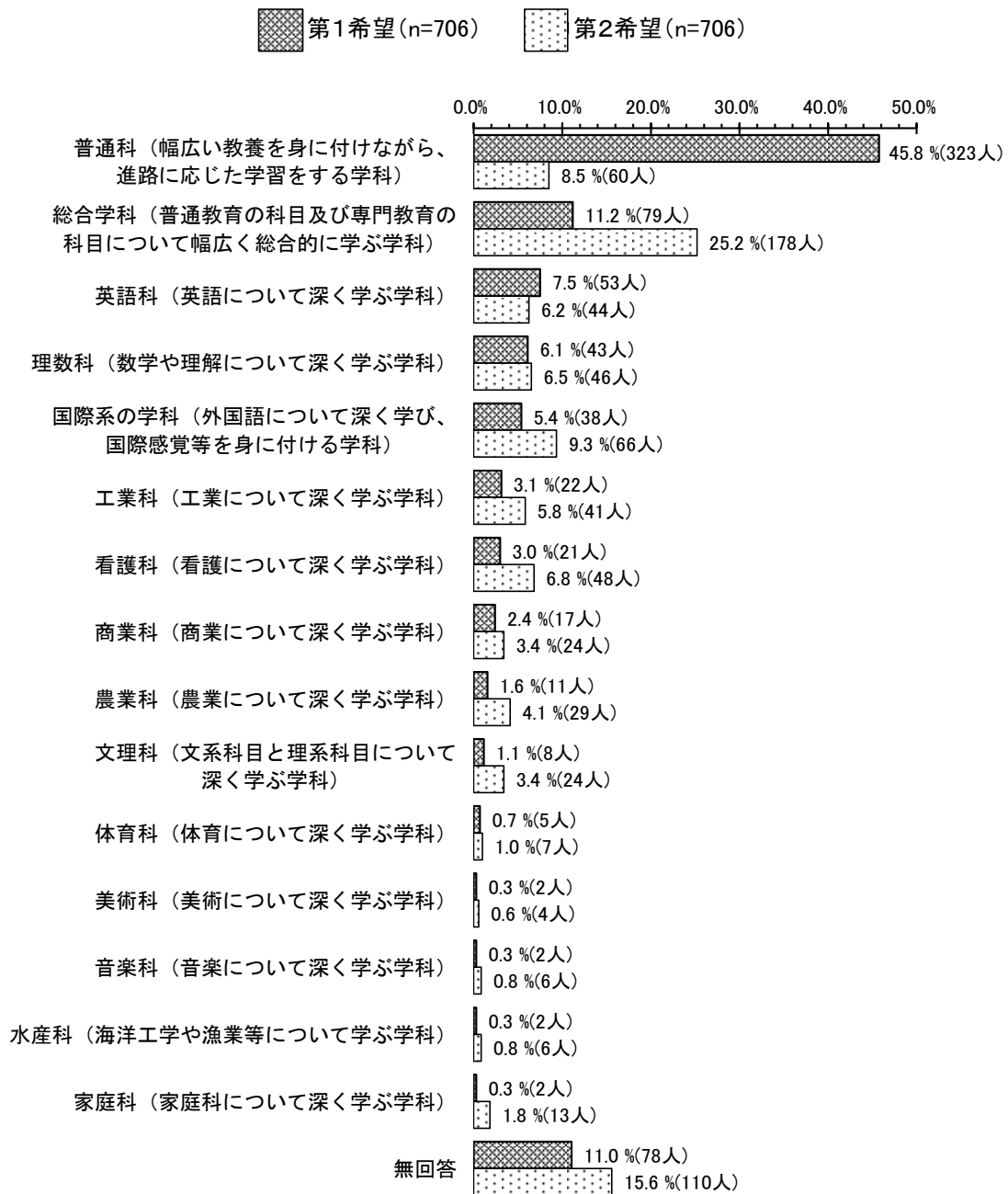


生物多様性に配慮したライフスタイルについては、「節電や適切な冷暖房温度の設定など地球温暖化対策に取り組む」(24.8%) が最も多く、全体の約4分の1を占めている。以下、「旬のもの、地ものを選んで購入する」(22.8%) が2割台、「生き物を最後まで責任を持って育てる」(14.6%) が1割台で続いている。

## 4. 高校教育について

### (1) 選択したい学科

問 15 次の学科は、平成 28 年度に福島県内の県立高等学校・私立高等学校にある主な学科です。学校名にとらわれることなく考えた場合、あなたが（またはお子様等に）選びたい（選ばせたい）学科は何ですか。希望順に 2 つ選んでください。

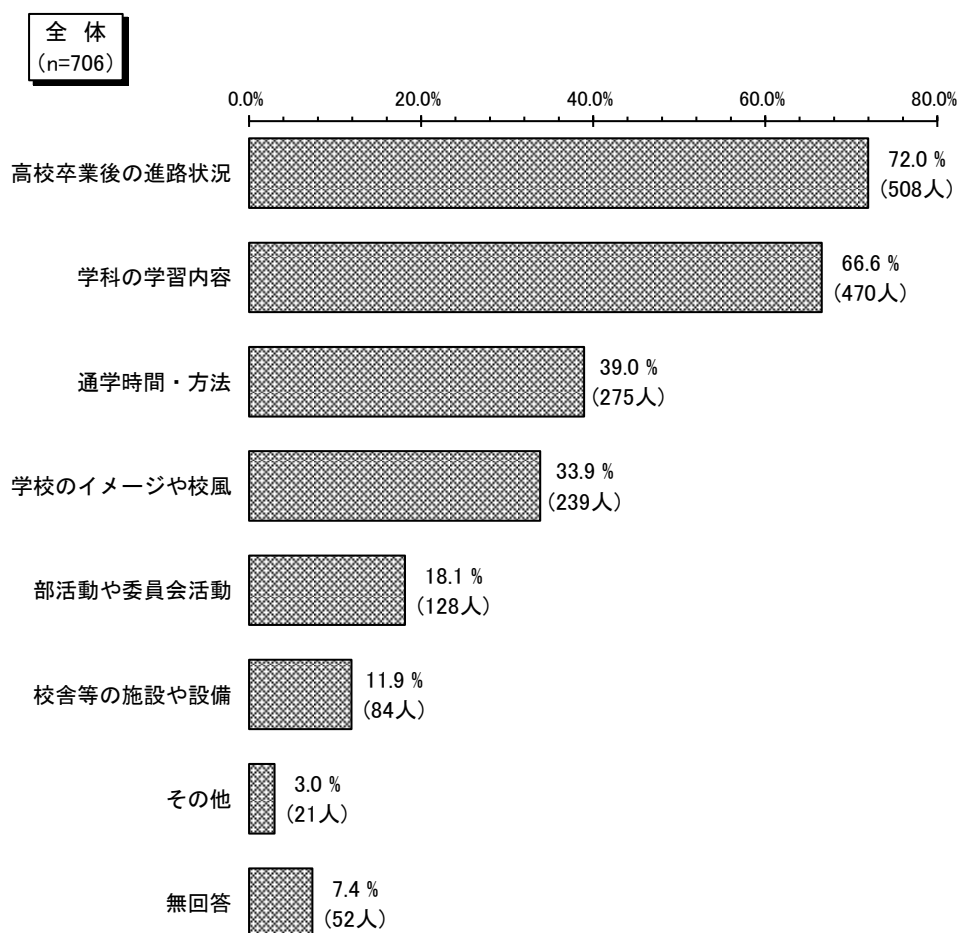


選択したい学科について、第1希望としては「普通科（幅広い教養を身に付けながら、進路に応じた学習をする学科）」（45.8%）の割合が最も高く、次いで、「総合学科（普通教育の科目及び専門教育の科目について幅広く総合的に学ぶ学科）」（11.2%）となっている。

第2希望としては、「総合学科（普通教育の科目及び専門教育の科目について幅広く総合的に学ぶ学科）」（25.2%）が最も多くあげられており、「国際系の学科（外国語について深く学び、国際感覚等を身に付ける学科）」（9.3%）、「普通科（幅広い教養を身に付けながら、進路に応じた学習をする学科）」（8.5%）が1割弱で続いている。

## (2) 高等学校選択の際の重視点

問 16 あなた（またはお子様等）が進学を希望し、高等学校を選択する場合、重視したい点は何ですか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。

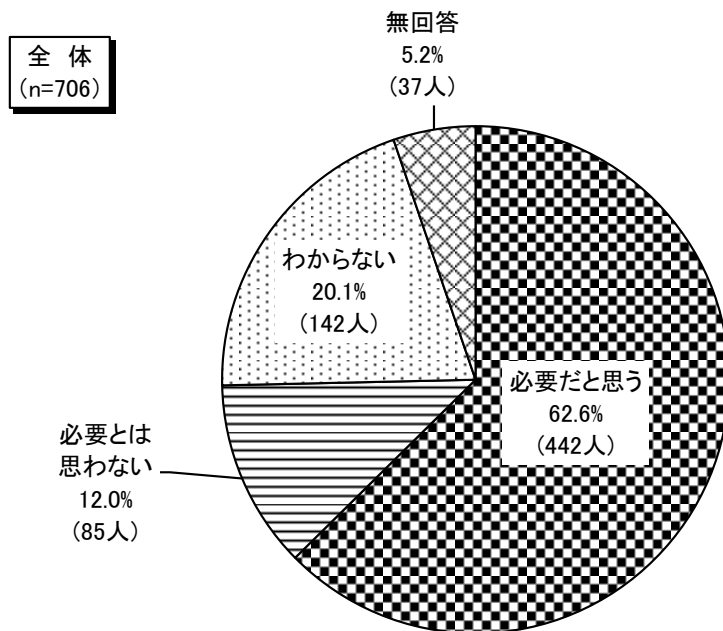


高等学校選択の際の重視点としては、「高校卒業後の進路状況」（72.0%）の割合が7割強で最も高く、次いで、「学科の学習内容」（66.6%）が7割弱で続き、以下、「通学時間・方法」（39.0%）、「学校のイメージや校風」（33.9%）が3割台となっている。

### (3) 定時制高等学校の必要性

問 17 定時制高等学校と中高一貫教育校について質問します。

- (1) あなたがお住まいの地域に、郡山萌世高等学校やいわき翠の杜高等学校のような  
昼間主コース・夜間主コースを持つ定時制高等学校は必要だと思いますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。



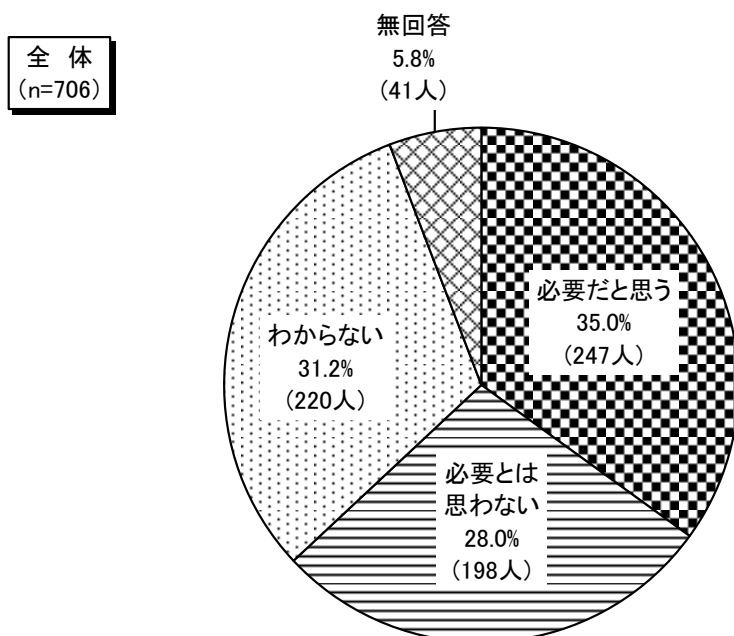
定時制高等学校の必要性について、「必要だと思う」(62.6%)は6割台となっている。  
一方、「必要とは思わない」(12.0%)は1割程度となっている。  
また、「わからない」(20.1%)が約2割となっている。

#### (4) 中高一貫教育校の必要性

問 17 定時制高等学校と中高一貫教育校について質問します。

(2) あなたがお住まいの地域に、中学校から高等学校までの6年間を接続した中高一貫教育校は必要だと思いますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。



中高一貫教育校の必要性について、「必要だと思う」(35.0%)は全体の3分の1程度となっている。一方、「必要とは思わない」(28.0%)は3割弱となっている。

また、「わからない」(31.2%)が3割強となっている。

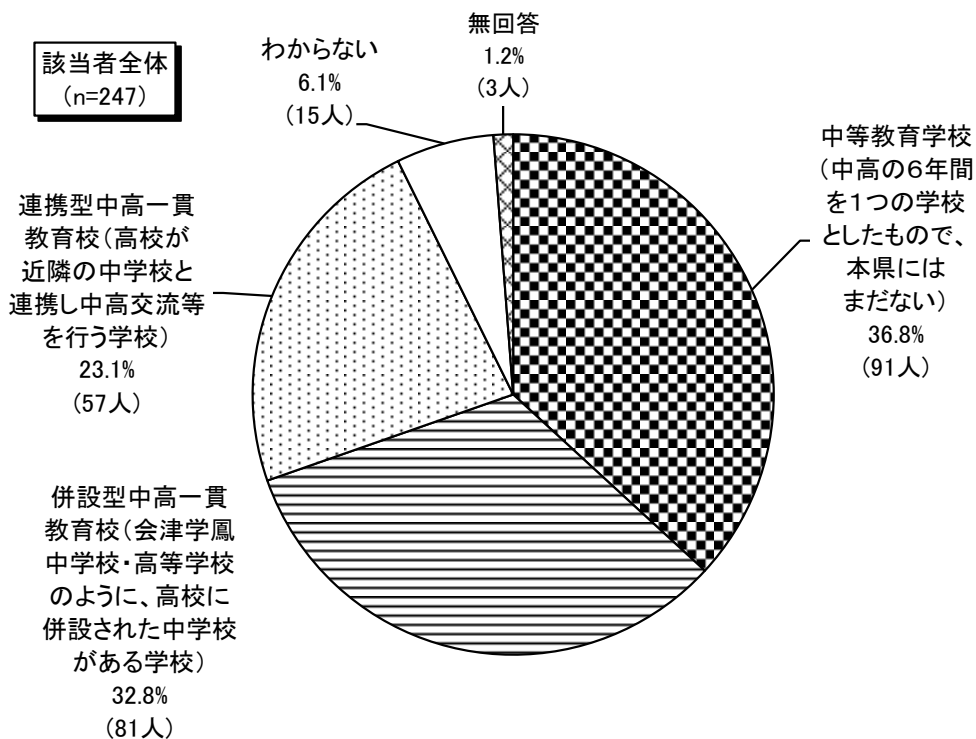


(5) 一番必要な中高一貫教育校の形態

問18 問17(2)において、「1 必要だと思う」と回答した方だけに質問します。

(1) お住まいの地域に一番必要だと思う中高一貫教育校の形態はどれですか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。



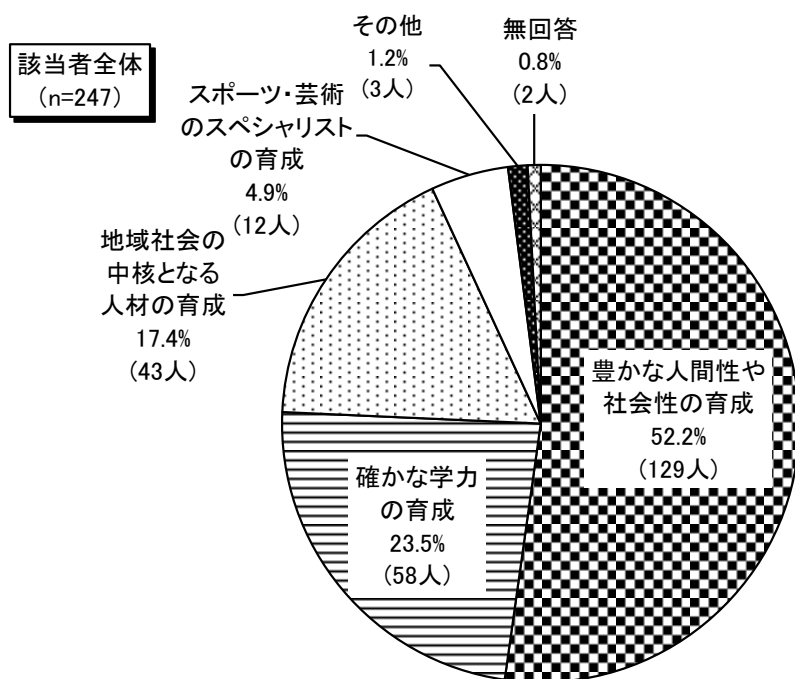
一番必要な中高一貫教育校の形態については、「中等教育学校（中高の6年間を1つの学校としたもので、本県にはまだない）」(36.8%)が4割弱となっている。以下、「併設型中高一貫教育校（会津学鳳中学校・高等学校のように、高校に併設された中学校がある学校）」(32.8%)が3割台、「連携型中高一貫教育校（高校が近隣の中学校と連携し中高交流等を行う学校）」(23.1%)が2割台となっている。

## (6) 中高一貫教育校で重視した方が良く

問18 問17(2)において、「1 必要だと思う」と回答した方だけに質問します。

(2) 中高一貫教育校では、どのようなことを一番に重視した方が良く

と思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。



中高一貫教育校で重視した方が良く

ことについては、「豊かな人間性や社会性の育成」(52.2%)が最も多く、全体の過半数を占めている。以下、「確かな学力の育成」(23.5%)

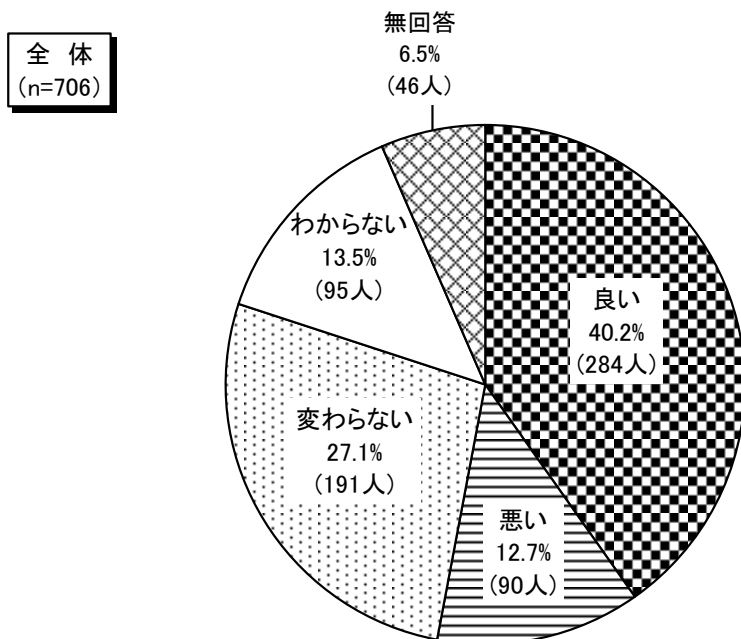
が2割台、「地域社会の中核となる人材の育成」(17.4%)が1割台となっている。

## 5. 地域社会の安全・安心（治安）について

### （1）現在の治安状況

問 19 現在あなたが住んでいる地域（仮設住宅・借り上げ住宅も含む）の治安は良いと思いますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。



現在の居住地の治安状況が「良い」（40.2％）と思う人は4割台となっている。一方、治安状況が「悪い」（12.7％）と思う人は1割程度となっている。また、「変わらない」（27.1％）が3割弱となっている。

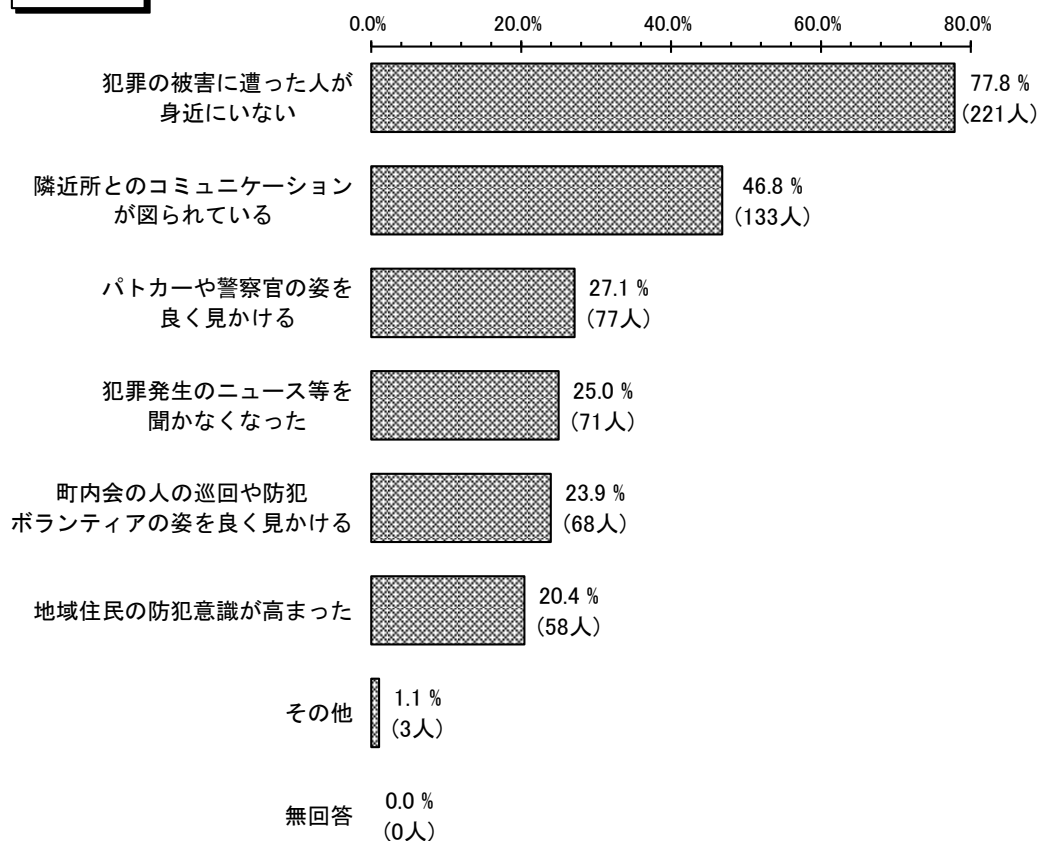
## (2) 治安状況が良いと思う理由

(問 19 で、「1 良い」とお答えの方にお尋ねします。)

問 19-1 良いと思う理由は何ですか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。

該当者全体  
(n=284)



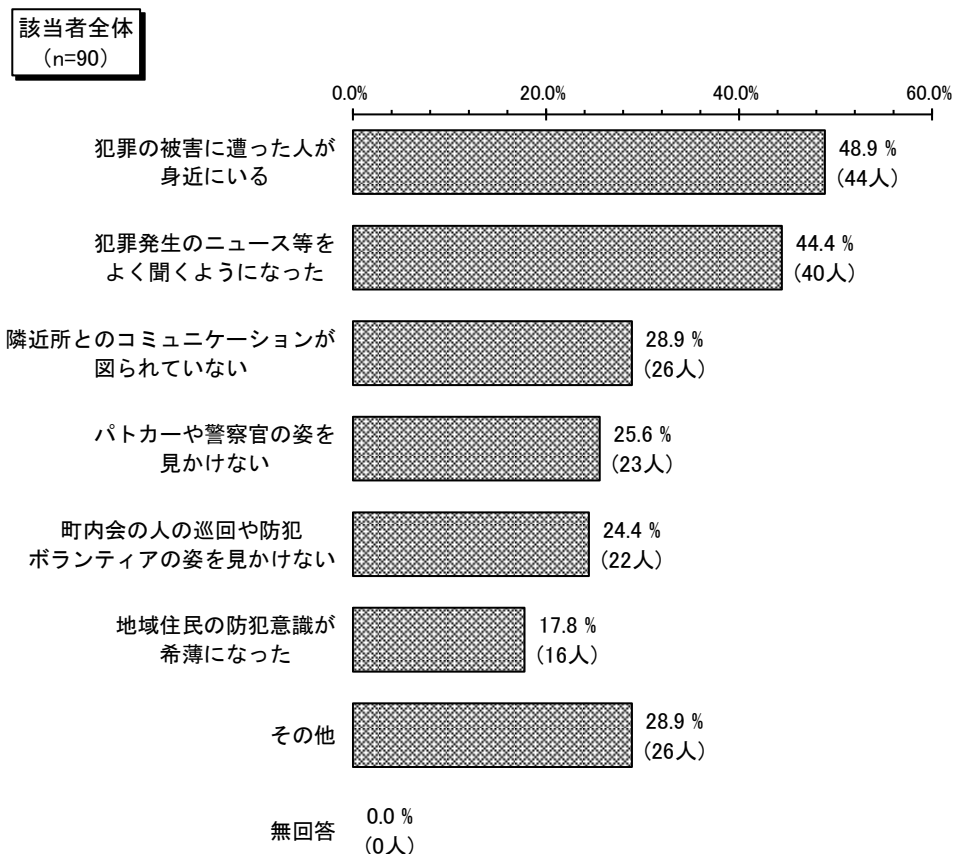
治安状況が良いと思う理由は、「犯罪の被害に遭った人が身近にいない」(77.8%)が最も多く、8割弱となっている。以下、「隣近所とのコミュニケーションが図られている」(46.8%)が4割台、「パトカーや警察官の姿を良く見かける」(27.1%)、「犯罪発生のニュース等を聞かなくなった」(25.0%)、「町内会の人や巡回や防犯ボランティアの姿を良く見かける」(23.9%)、「地域住民の防犯意識が高まった」(20.4%)が2割台で続いている。

### (3) 治安状況が悪いと思う理由

(問 19 で、「2 悪い」とお答えの方にお尋ねします。)

問 19-2 悪いと思う理由は何ですか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。

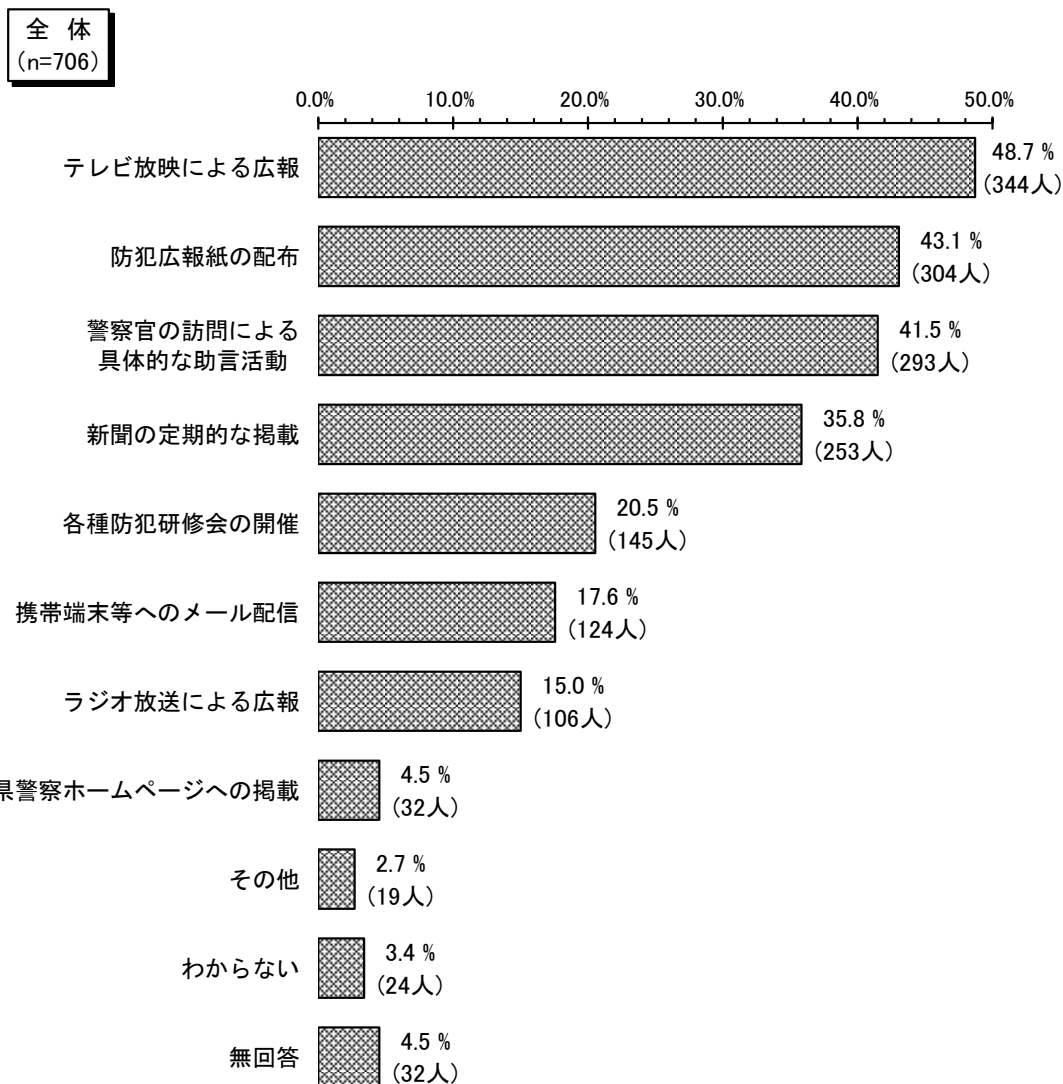


治安状況が悪いと思う理由は、「犯罪の被害に遭った人が身近にいる」(48.9%)が5割弱で最も高くなっている。以下、「犯罪発生のニュース等をよく聞くようになった」(44.4%)が同じく4割台、「隣近所とのコミュニケーションが図られていない」(28.9%)、「パトカーや警察官の姿を見かけない」(25.6%)、「町内会の人や巡回や防犯ボランティアの姿を見かけない」(24.4%)が2割台で続いている。

#### (4) 犯罪の発生状況や防止方法等の情報の提供手段

問 20 犯罪の発生状況や犯罪を未然に防止する方法等の情報について、どのような形で提供されるのがよいと思いますか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。

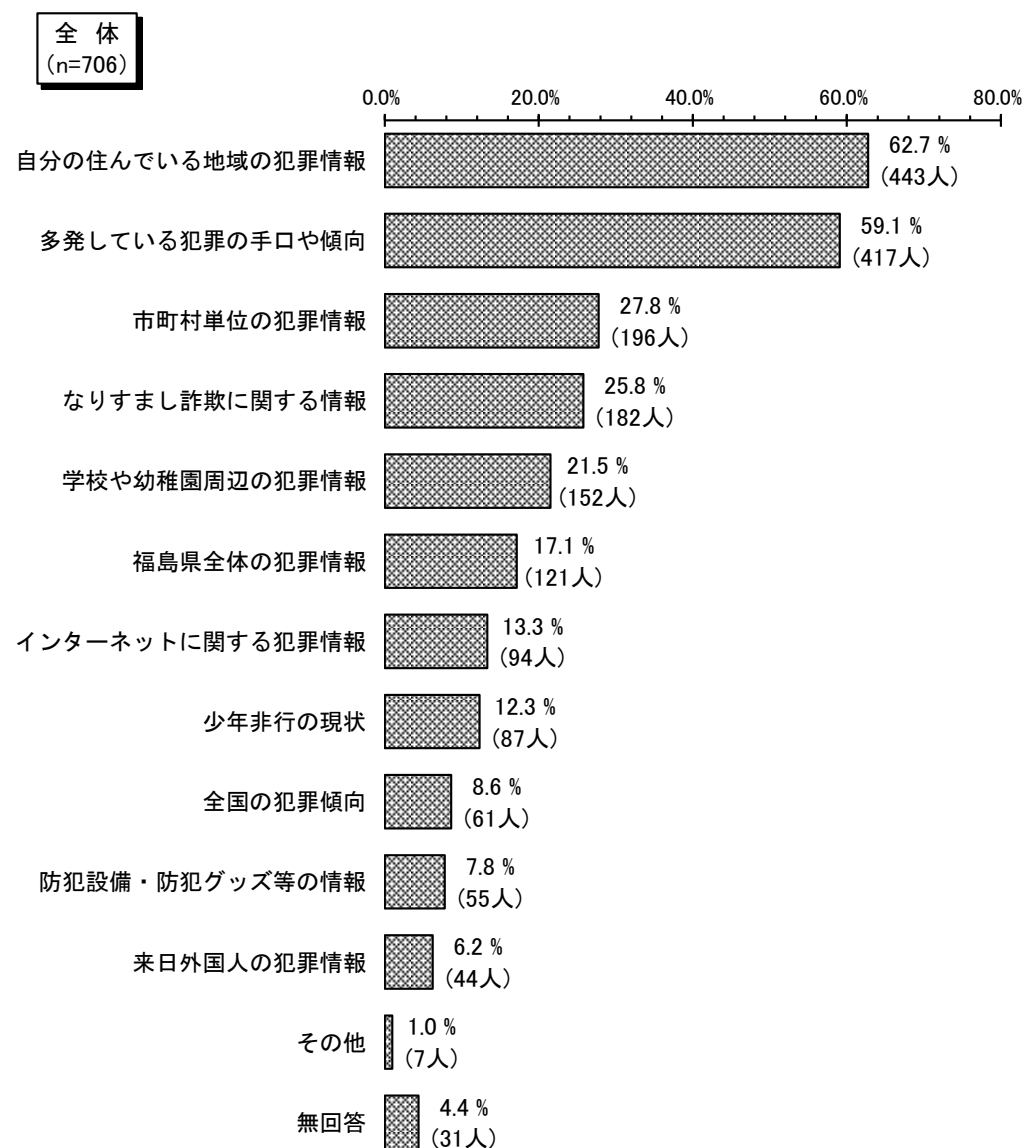


犯罪の発生状況や防止方法等の情報の提供方法については、「テレビ放映による広報」(48.7%)が最も多く、5割弱となっている。以下、「防犯広報紙の配布」(43.1%)と「警察官の訪問による具体的な助言活動」(41.5%)が4割台、「新聞の定期的な掲載」(35.8%)が3割台、「各種防犯研修会の開催」(20.5%)が2割台、「携帯端末等へのメール配信」(17.6%)、「ラジオ放送による広報」(15.0%)が1割台で続いている。

## (5) 犯罪に関して知りたい情報

問 21 犯罪に関するどのような情報が知りたいですか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。



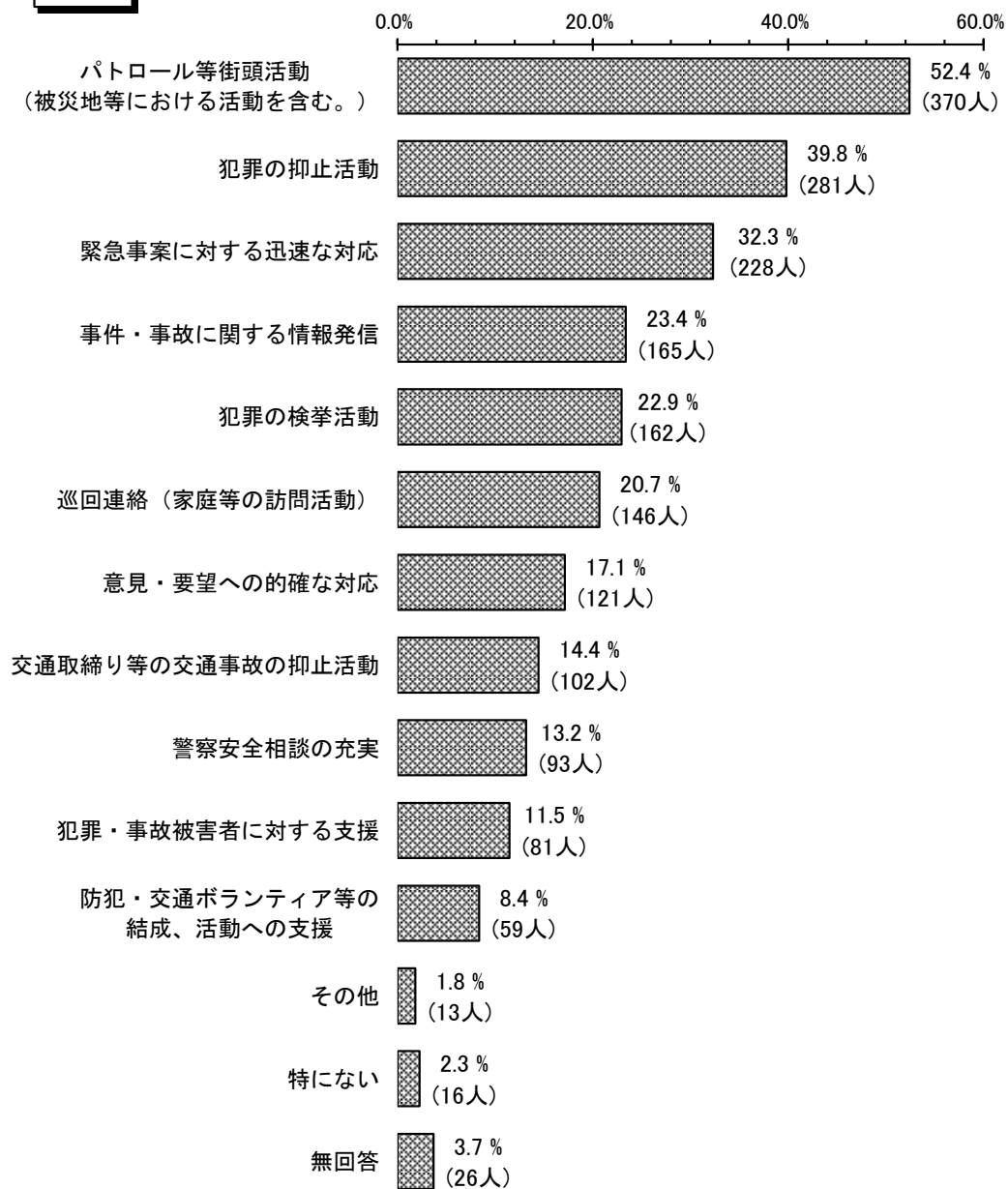
犯罪に関して知りたい情報は、「自分の住んでいる地域の犯罪情報」(62.7%)が最も多く6割台となっている。次いで、「多発している犯罪の手口や傾向」(59.1%)が6割弱で続いている。以下、「市町村単位の犯罪情報」(27.8%)、「なりすまし詐欺に関する情報」(25.8%)、「学校や幼稚園周辺の犯罪情報」(21.5%)、「福島県全体の犯罪情報」(17.1%)の順となっている。

## (6) 警察に強化してほしい活動

問 22 安全・安心な地域社会をつくるため、警察にどのような活動を強化してほしいと考えますか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。

全体  
(n=706)



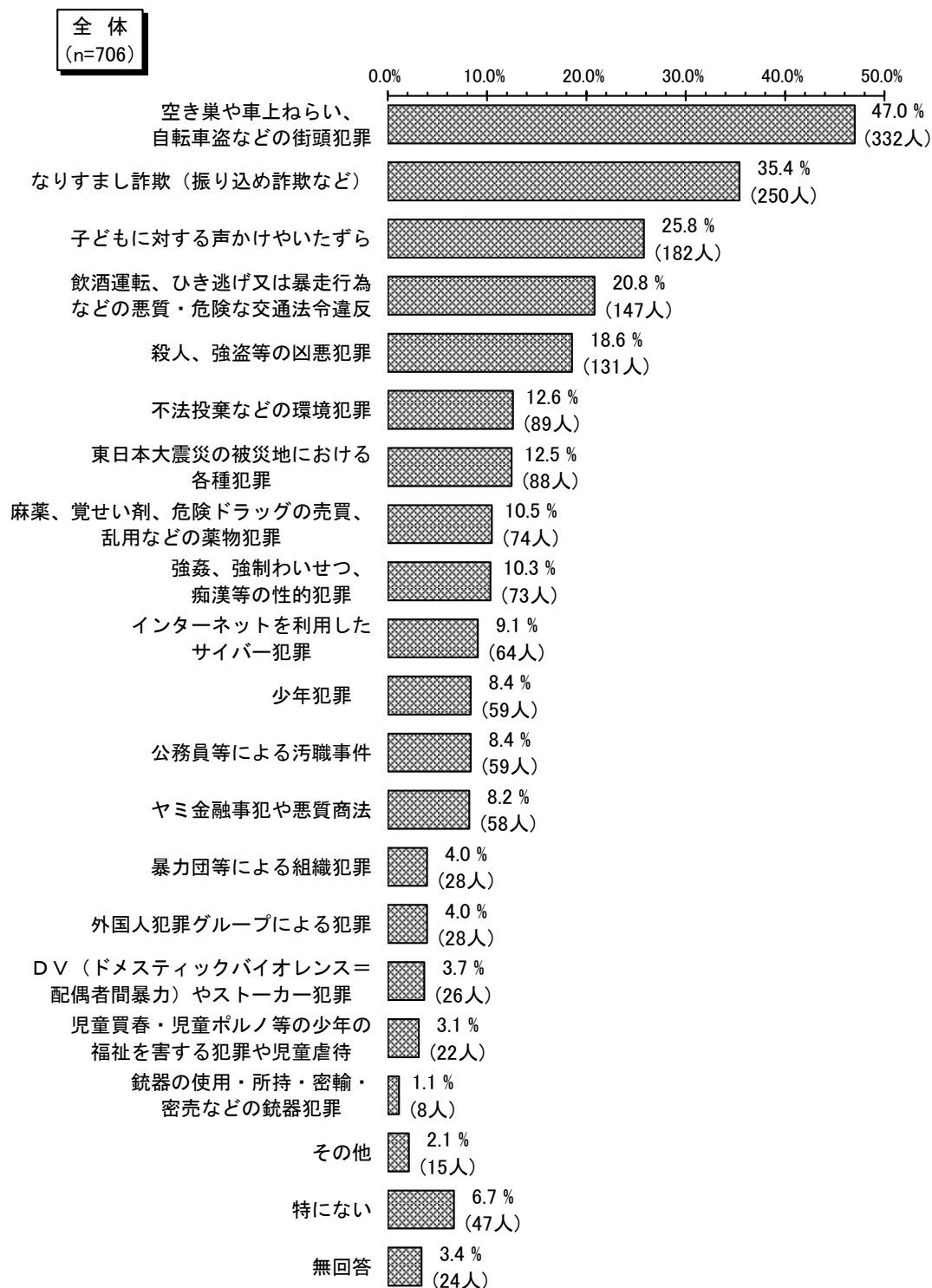


警察に強化してほしい活動は、「パトロール等街頭活動（被災地等における活動を含む。）」（52.4%）が最も多くなっている。以下、「犯罪の抑止活動」（39.8%）と「緊急事案に対する迅速な対応」（32.3%）が3割台で続き、「事件・事故に関する情報発信」（23.4%）、「犯罪の検挙活動」（22.9%）、「巡回連絡（家庭等の訪問活動）」（20.7%）が2割台、「意見・要望への的確な対応」（17.1%）、「交通取締り等の交通事故の抑止活動」（14.4%）、「警察安全相談の充実」（13.2%）、「犯罪・事故被害者に対する支援」（11.5%）が1割台となっている。

## (7) 重点的に取り締まってほしい犯罪

問 23 現在お住まいの地域で最も不安を感じ、今後重点的に取り締まってほしい犯罪は何ですか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。



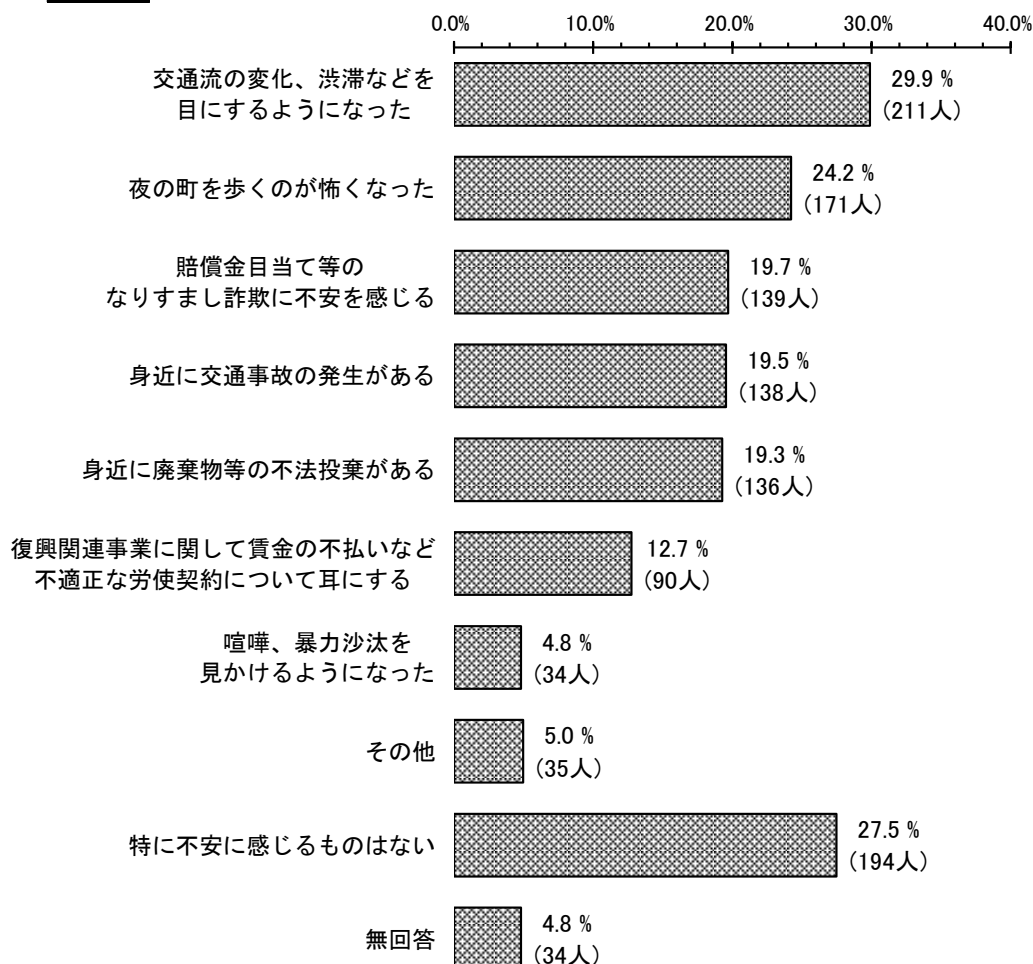
今後重点的に取り締まってほしい犯罪は、「空き巣や車上ねらい、自転車盗などの街頭犯罪」(47.0%)が5割弱で最も多くなっている。以下、「なりすまし詐欺(振り込め詐欺など)」(35.4%)、「子どもに対する声かけやいたずら」(25.8%)、「飲酒運転、ひき逃げ又は暴走行為などの悪質・危険な交通法令違反」(20.8%)、「殺人、強盗等の凶悪犯罪」(18.6%)、「不法投棄などの環境犯罪」(12.6%)、「東日本大震災の被災地における各種犯罪」(12.5%)が続いている。

## (8) 身近に感じる不安

問 24 震災から5年が経過しましたが、復興に伴い治安面で身近に感じる不安は何ですか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。

全体  
(n=706)



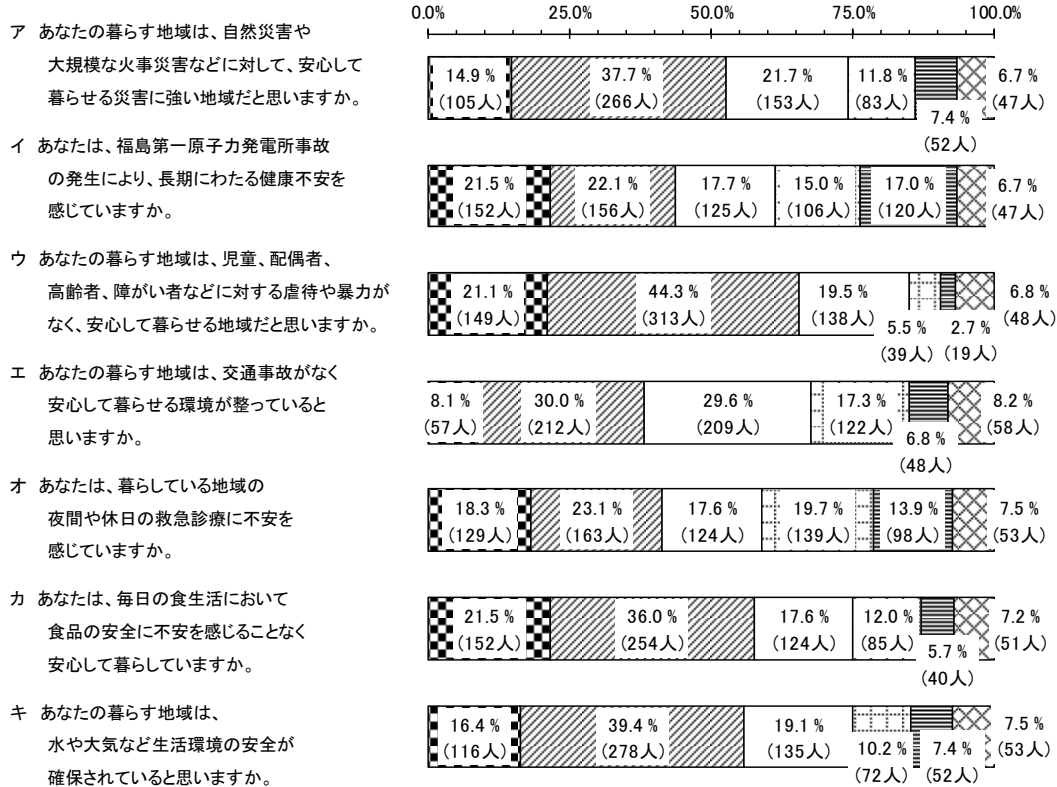
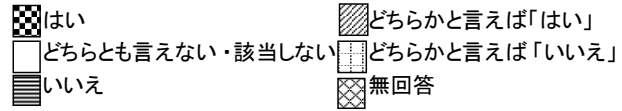
復興に伴い治安面で身近に感じる不安は、「交通流の変化、渋滞などを目にするようになった」(29.9%)が最も多くなっている。以下、「夜の町を歩くのが怖くなった」(24.2%)が2割台、「賠償金目当て等のなりすまし詐欺に不安を感じる」(19.7%)、「身近に交通事故の発生がある」(19.5%)、「身近に廃棄物等の不法投棄がある」(19.3%)、「復興関連事業に関して賃金の不払いなど不適正な労使契約について耳にする」(12.7%)が1割台となっている。

## 6. 安全で安心な県づくりについて

### (1) 安全・安心の現状

問 25 次にあげたア～キの項目について、あなたは現状をどのように感じていますか。  
それぞれ1～5の中であてはまるもの1つに○をつけてください。

全体  
(n=741)



「はい」と回答した人の割合をみると、〈イ あなたは、福島第一原子力発電所事故の発生により、長期にわたる健康不安を感じていますか。〉と〈カ あなたは、毎日の食生活において食品の安全に不安を感じることなく安心して暮らしていますか。〉（いずれも21.5%）が最も高くなっている。次いで、〈ウ あなたの暮らす地域は、児童、配偶者、高齢者、障がい者などに対する虐待や暴力がなく、安心して暮らせる地域だと思いますか。〉（21.1%）が続いている。

「はい」と「どちらかと言えば“はい”」を合わせた『はい』計の割合をみると、〈ウ あなたの暮らす地域は、児童、配偶者、高齢者、障がい者などに対する虐待や暴力がなく、安心して暮らせる地域だと思いますか。〉（65.4%）が最も高く、7割弱となっている。以下、〈カ あなたは、毎日の食生活において食品の安全に不安を感じることなく安心して暮らしていますか。〉（57.5%）、〈キ あなたの暮らす地域は、水や大気など生活環境の安全が確保されていると思いますか。〉（55.8%）、〈ア あなたの暮らす地域は、自然災害や大規模な火事災害などに対して、安心して暮らせる災害に強い地域だと思いますか。〉（52.5%）が5割台、〈イ あなたは、福島第一原子力発電所事故の発生により、長期にわたる健康不安を感じていますか。〉（43.6%）、〈オ あなたは、暮らしている地域の夜間や休日の救急診療に不安を感じていますか。〉（41.4%）が4割台、〈エ あなたの暮らす地域は、交通事故がなく安心して暮らせる環境が整っていると思いますか。〉（38.1%）が3割台となっている。

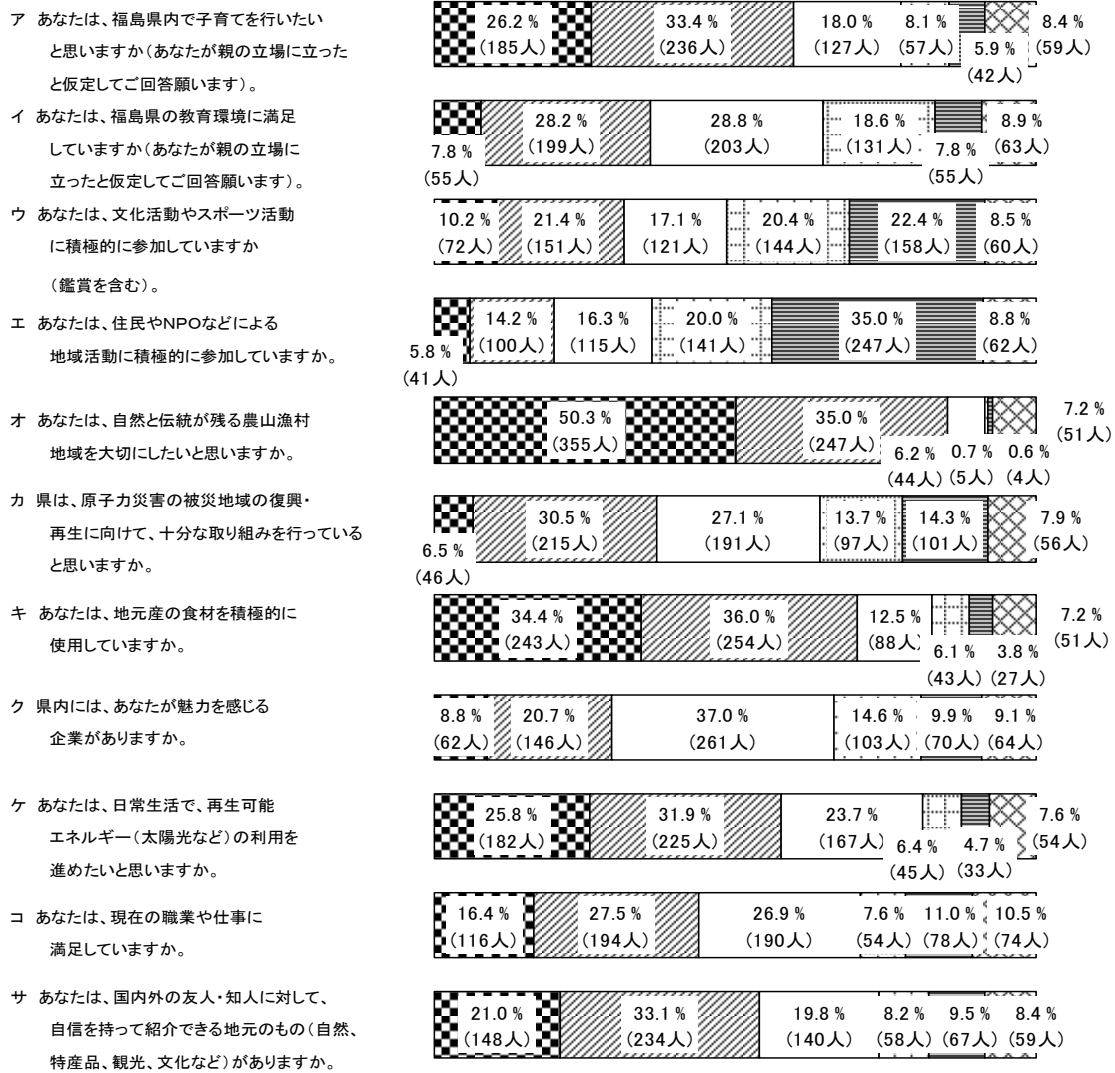
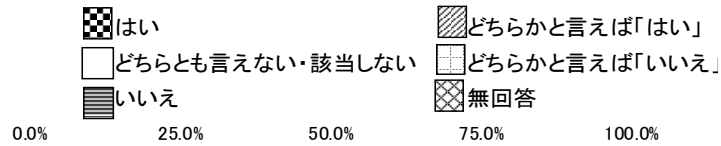
一方、「いいえ」と「どちらかと言えば“いいえ”」を合わせた『いいえ』計の割合は、〈オ あなたは、暮らしている地域の夜間や休日の救急診療に不安を感じていますか。〉（33.6%）が最も高く、3割強となっている。以下、〈イ あなたは、福島第一原子力発電所事故の発生により、長期にわたる健康不安を感じていますか。〉（32.0%）が同じく3割台、〈エ あなたの暮らす地域は、交通事故がなく安心して暮らせる環境が整っていると思いますか。〉（24.1%）が2割台となっている。

## 7. 県総合計画について

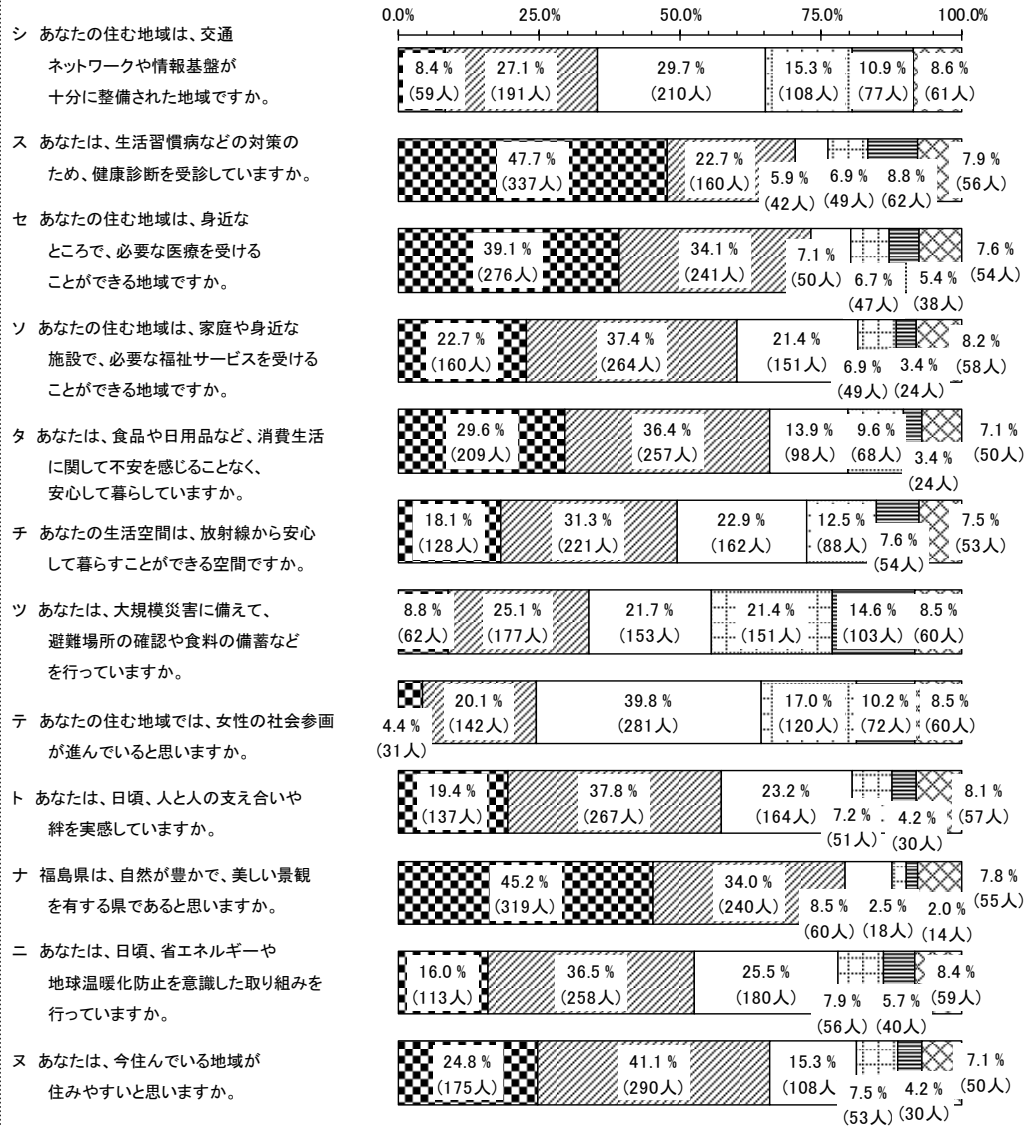
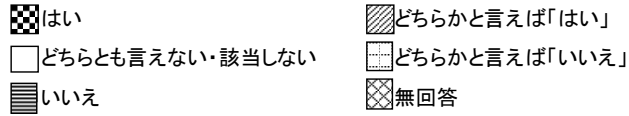
### (1) 福島県の現状

問 26 次にあげたア～ヌの項目について、あなたは現状をどのように感じていますか。  
それぞれ1～5の中であてはまるもの1つに○をつけてください。

全体  
(n=706)



全体  
(n=706)





「はい」と回答した人の割合は、〈オ あなたは、自然と伝統が残る農山漁村地域を大切にしたいと思いますか。〉(50.3%)が最も高く、5割強となっている。次いで、〈ス あなたは、生活習慣病などの対策のため、健康診断を受診していますか。〉(47.7%)と〈ナ 福島県は、自然が豊かで、美しい景観を有する県であると思いますか。〉(45.2%)が4割台で続いている。

「はい」と「どちらかと言えば“はい”」を合わせた『はい』計の割合をみると、〈オ あなたは、自然と伝統が残る農山漁村地域を大切にしたいと思いますか。〉(85.3%)が最も高く、9割弱となっている。以下、〈ナ 福島県は、自然が豊かで、美しい景観を有する県であると思いますか。〉(79.2%)、〈セ あなたの住む地域は、身近なところで、必要な医療を受けることができる地域ですか。〉(73.2%)、〈キ あなたは、地元産の食材を積極的に使用していますか。〉と〈ス あなたは、生活習慣病などの対策のため、健康診断を受診していますか。〉(それぞれ70.4%)が7割台、〈タ あなたは、食品や日用品など、消費生活に関して不安を感じることなく、安心して暮らしていますか。〉(66.0%)、〈ヌ あなたは、今住んでいる地域が住みやすいと思いますか。〉(65.9%)、〈ソ あなたの住む地域は、家庭や身近な施設で、必要な福祉サービスを受けることができる地域ですか。〉(60.1%)が6割台、〈ア あなたは、福島県内で子育てを行いたいと思いますか(あなたが親の立場に立ったと仮定してご回答願います)。〉(59.6%)、〈ケ あなたは、日常生活で、再生可能エネルギー(太陽光など)の利用を進めたいと思いますか。〉(57.6%)、〈ト あなたは、日頃、人と人の支え合いや絆を実感していますか。〉(57.2%)、〈サ あなたは、国内外の友人・知人に対して、自信を持って紹介できる地元のもの(自然、特産品、観光、文化など)がありますか。〉(54.1%)、〈ニ あなたは、日頃、省エネルギーや地球温暖化防止を意識した取り組みを行っていますか。〉(52.5%)が5割台となっている。

一方、「いいえ」と「どちらかと言えば“いいえ”」を合わせた『いいえ』計の割合は、〈エ あなたは、住民やNPOなどによる地域活動に積極的に参加していますか。〉(55.0%)が5割台で最も高くなっている。以下、〈ウ あなたは、文化活動やスポーツ活動に積極的に参加していますか(鑑賞を含む)。〉(42.8%)が4割台、〈ツ あなたは、大規模災害に備えて、避難場所の確認や食料の備蓄などを行っていますか。〉(36.0%)が3割台で続いている。



### Ⅲ 調査票様式



## IV 過去に実施した県政世論調査項目一覧



平成27年度（8項目28問） 標本数 1,300 回収率 54.8%

- (1) 復興に関する情報発信について
- (2) 心の健康について
- (3) 青少年の健全育成について
- (4) ユニバーサルデザインについて
- (5) 農林水産業について
- (6) 地域社会の安全・安心（治安）について
- (7) 安全で安心な県づくりについて
- (8) 県総合計画について

平成26年度（8項目28問） 標本数 1,300 回収率 57.0%

- (1) 復興に関する情報発信について
- (2) 心の健康について
- (3) 食育について
- (4) 農林水産業について
- (5) 廃棄物対策について
- (6) 地域社会の安全・安心（治安）について
- (7) 安全で安心な県づくりについて
- (8) 県総合計画について

平成25年度（8項目24問） 標本数 1,300 回収率 61.8%

- (1) 復興に関する情報発信について
- (2) 心の健康について
- (3) 救急医療について
- (4) 農林水産業について
- (5) 生物多様性について
- (6) 地域社会の安全・安心（治安）について
- (7) 安全で安心な県づくりについて
- (8) 県総合計画について

平成24年度（9項目33問） 標本数 1,300 回収率 60.7%

- (1) 環境について
- (2) 水に関する意識について
- (3) 子育て支援策について
- (4) 青少年の健全育成について
- (5) ユニバーサルデザインについて
- (6) ジェネリック医薬品（後発医薬品）について
- (7) 地域社会の安全・安心（治安）について
- (8) 安全で安心な県づくりについて
- (9) 県総合計画について

平成23年度（7項目24問） 標本数1,300 回収率63.4%

- (1) 震災時及び現在における情報収集について
- (2) 男女共同参画の視点からの災害対応について
- (3) 心の健康について
- (4) 震災後の商業環境について
- (5) 芸術文化・スポーツ活動について
- (6) 震災後の県内の安全・安心（治安）について
- (7) 安全で安心な県づくりについて

平成22年度（8項目30問） 標本数1,300 回収率60.8%

- (1) 福島県農林水産物の消費拡大について
- (2) 地域社会の安全・安心について
- (3) 生活習慣病予防対策について
- (4) 水について
- (5) 生物多様性について
- (6) 廃棄物対策について
- (7) 福島県総合計画について
- (8) 安全で安心な県づくりについて

平成21年度（7項目30問） 標本数1,300 回収率65.1%

- (1) 福島県の農業・農村の振興について
- (2) 地域社会の安全・安心について
- (3) 食育について
- (4) 環境について
- (5) 青少年の健全育成について
- (6) 土地利用について
- (7) 福島県の新しい総合計画について

平成20年度（5項目28問） 標本数1,300 回収率64.2%

- (1) 安心・安全な県産農産物の生産拡大について
- (2) 地域社会の安全、安心について
- (3) 保健福祉関連事業について
- (4) 福島県新長期総合計画「うつくしま21」について
- (5) ユニバーサルデザインについて

平成19年度（5項目23問） 標本数1,300 回収率61.8%

- (1) 「ふくしま食と農の絆づくり運動」について
- (2) 警察活動について
- (3) 「がん」に関する意識について
- (4) 県庁の組織名及び職名について
- (5) 福島県新長期総合計画「うつくしま21」について



平成18年度（6項目21問） 標本数 1,300 回収率 58.5%

- (1) 犯罪に関する意識について
- (2) 化学物質について
- (3) 有機農産物に対する認知度と消費動向について
- (4) 食育について
- (5) “うつくしま、ふくしま。” 県民運動について
- (6) 福島県新長期総合計画「うつくしま21」について

平成17年度（6項目24問） 標本数 1,300 回収率 59.3%

- (1) 森林と県民生活について
- (2) 水について
- (3) 電子社会の推進と現状について
- (4) 運動・スポーツに関する実態について
- (5) ユニバーサルデザインについて
- (6) 福島県新長期総合計画「うつくしま21」について

平成16年度（5項目27問） 標本数 1,300 回収率 61.8%

- (1) 安全に安心して暮らせる地域社会について
- (2) 地域温暖化防止のためのエコライフについて
- (3) 心の健康について
- (4) 文化に関する意識について
- (5) “うつくしま、ふくしま。” 県民運動について

平成15年度（5項目34問） 標本数 1,300 回収率 62.2%

- (1) お米の消費実態と福島米への要望について
- (2) 交通安全教育について
- (3) 環境保全への取り組みについて
- (4) エネルギー政策について
- (5) 県政への要望について

平成14年度（4項目30問） 標本数 1,000 回収率 60.5%

- (1) 地産地消について
- (2) IT革命の現状と課題について
- (3) ボランティア活動について
- (4) 食品の安全確保について

平成13年度（6項目33問） 標本数1,000 回収率58.0%

- (1) ユニバーサルデザインについて
- (2) “うつくしま、ふくしま。” 県民運動について
- (3) 環境保全について
- (4) 県民生活と森林づくり運動について
- (5) 新エネルギーについて
- (6) 人権問題について

平成12年度（4項目31問） 標本数1,000 回収率62.2%

- (1) 行政情報化について
- (2) 魅力ある観光地づくりについて
- (3) うつくしま未来博について
- (4) 運動・スポーツについて

平成11年度（6項目34問） 標本数1,000 回収率64.4%

- (1) 福島県の教育について
- (2) 高齢社会について
- (3) 住民参加について
- (4) 行財政改革について
- (5) 土地利用について
- (6) 県への要望について

平成10年度（6項目33問） 標本数1,000 回収率66.9%

- (1) 子育てについて
- (2) 生涯学習について
- (3) 安全な生活について
- (4) 魅力ある観光地づくりについて
- (5) 地方分権について
- (6) 県への要望について

平成 28 年度

# 県政世論調査

結果報告書

〈概要版〉

福島県 総務部 県民広聴室

〒960-8670 福島市杉妻町2番16号

電話 (024) 521-7013